

絆でつないだ30年
(30周年記念誌)

国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ



The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster;

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Forth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

THE FOUR-WAY TEST

Of the Things we think, say or do

1) is it TRUTH ?

2) is it FAIR to all concerned ?

3) Will it build GOODWILL and Better FRIENDSHIP ?

4) Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

四つのテスト

言行はこれらにてらしてから

1. 真実かどうか！

2. みんなに公平か！

3. 好意と友情を深めるか！

4. みんなのためになるかどうか！

《 目 次 》

* ロータリーの目的・四つのテスト	1
* 目 次	2
* クラブ概要・多摩東グループ地図	3
* バナー	4
* 認 証	5
* 会長挨拶 峯岸 忠	6
* ご祝辞 ガバナー 福原 有一	8
* ガバナー補佐 関戸 達哉	9
* 多摩 RC 会長 飯島 文彦	10
* 多摩市長 阿部 裕行	11
* 実行委員長挨拶 吉沢 洋景	12
* 第 1387 回例会	13
* 30 周年記念事業 経過説明と中止までの記録	14
* 赤尾和美氏 挨拶・プロフィール	15
* 記念事業式典実行委員会組織表	18
* 委員会活動（2020～2021 年度）	19
* 委員会活動（2016～2017 年度）	22
* 委員会活動（2017～2018 年度）	24
* 委員会活動（2018～2019 年度）	26
* 委員会活動（2019～2020 年度）	28
* 会員名簿	30
* 交換留学生一覧	34
* 5 周年記念事業	36
* 10 周年記念事業	38
* 15 周年記念事業	40
* 20 周年記念事業	42
* 25 周年記念事業	44
* 30 年の業績	46
* 絆でつないだ 30 年	52
* あとがき	81

＜クラブ概要＞

1. 所在地域 東京都多摩市全域
2. クラブ概要

創 立	1990 年 9 月 5 日
RI 加盟承認	1990 年 10 月 26 日
認証状伝達式	1991 年 3 月 25 日
スポンサークラブ	東京多摩ロータリークラブ
特別代表	由井 重光
3. 例会日

毎週水曜日	12：30 ～
毎月末水曜日	18：30 ～
4. 例会場 京王プラザホテル多摩（多摩センター駅前）
TEL042 - 374 - 0111
5. 事務局 〒206 - 0033
東京都多摩市落合 1 - 43 京王プラザホテル多摩 561 号
TEL042 - 372 - 6463
FAX042 - 372 - 6491
E メール：tokyotamagrc@gmail.com
Home P：<http://www.tama-green.jp/>
6. 会員数

1990 年 9 月 5 日創立時	33 名	平均年齢	50.9 歳
2021 年 7 月 1 日現在	26 名	平均年齢	64.9 歳

多摩東グループ地図





「バナーのいわれ」

青い空 緑の山と風

黄色のうねりは

人間の理想 文化を表し

多摩のシンボル 鳩のイメージでもある

それらが渾然一体調和して

ロータリーの理想に向かって

昂まってゆく姿を示している



認 証 状



認 証 状 伝 達 式 模 様



創立30周年を迎えてのご挨拶

東京多摩グリーンロータリークラブ
2020-2021 年度 会長 峯岸 忠

東京多摩グリーンロータリークラブ 2020-2021 年度の会長を仰せつかっております、峯岸忠でございます。

当クラブは、全会員が一丸となって、日頃より如何に地域社会への貢献ができるかをテーマとして活動しております。

私どもの日常の活動の中で、地域の皆様方に活動のご理解・ご協力を賜ることも多く、また、励ましのお言葉を頂戴することもあり、感謝の念は尽きない次第でございます。この場をお借りして、地域社会の皆様には心より厚く御礼を申し上げます。

さて、当クラブは本年度、創立 30 周年を迎えることができました。

当クラブは 1990 年 9 月 5 日に 33 名の会員により産声を上げました。

大先輩方でもある創立時メンバーの奉仕の精神と、強固な意志を礎にその伝統を受け継ぎつつも、新しい時代に適応すべく様々な模索を繰り返し活動してまいりました。

思い起こせば、当クラブではこれまでに様々な奉仕活動を実行してまいりました。

創立期より「少年少女の育成」について合唱を通じて支援する活動に注力し、当クラブの創立 15 周年記念式典においては、「多摩グリーンロタキッド・クラブ『心の詩少年少女合唱団』」の結成発表会を開催することができました。

少年少女の希望に満ちた笑顔と伸びやかな歌声に、当クラブの会員も大変勇気付けられたとともに、大きな刺激を受けました。

この「多摩グリーンロタキッド・クラブ」の支援活動を皮切りに、その後も「障がい者テニススクールの開催」や「彫刻家のキム・キョンミン氏への支援活動」、「多摩市消防少年団の活動支援」、「薬物乱用防止活動への参加協力」、「NPO 法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー・ジャパンの代表を務められている『赤尾和美氏』への活動支援」等々、当クラブの会員が一致団結し、今日まで様々な奉仕活動に注力してきました。

今後、これらの奉仕活動を継続し更なる発展への寄与と、常にアンテナを張り新たな奉仕の機会を模索していくことが、私どもロータリアンの重大な責務であると捉え、行動力と団結力をもって地域社会への貢献に注力してまいりたい所存です。

当クラブにおいては、日頃お世話になっている方々にお会いできることを会員一同心待ちの想いを胸に、2019年に「創立30周年記念事業・式典実行委員会」を組成し、この式典に向けて準備を重ねてまいりました。

本来であれば、2020年9月に当クラブの創立30周年を記念して盛大な記念式典を開催する予定ではございましたが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、大規模な集会や式典にあたることから、ご来賓を賜る方々の健康面を第一優先と考え、極めて残念で断腸の思いではございましたが、式典は中止と判断せざるを得ませんでした。

今後、更なる奉仕活動に注力し、35周年、40周年へと邁進していきたい所存でございますので、皆様には何卒ご理解を賜れると有難く存じます。

本記念誌は、当クラブの30年間の軌跡を形に残したいと考え、作成しました。本誌をもって、当クラブの活動内容を皆様にお伝えすることができれば幸いです。

本誌作成に携わっていただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

末筆となりましたが、当クラブがお世話になっておる全ての方々の益々のご健勝・ご多幸・ご発展を祈念申し上げます。

今後とも、東京多摩グリーンロータリークラブを何卒宜しくお願い申し上げます。



東京多摩グリーン創立30周年 記念寄稿

国際ロータリー第 2750 地区
ガバナー 福原 有一

東京多摩グリーンロータリークラブの皆さん、クラブ創立 30 周年おめでとうございます。東京多摩グリーンロータリークラブは 1990 年にスポンサークラブを東京多摩ロータリークラブとして設立され、爾来 30 年にわたり地域の中核的なロータリークラブとして、奉仕に邁進してこられました。ここに 30 周年をお迎えになったことを深くお祝い申し上げます。

今年度は峯岸会長のもとで 30 周年を記念した事業に邁進しておられます。特に、薬物乱用防止活動のための中学生応募の標語集の配布や、多摩市消防署とタイアップしている多摩市消防少年団の活動支援などの地域密着型の奉仕活動に加え、10 年間継続しているラオスの小児病院への支援活動など、多岐にわたる賞賛される奉仕活動を実施されています。また、東京多摩グリーンロータリークラブは女性の活躍が進んでいるクラブでもあります。まず女性会員比率は 14% と高くなっておりまして、本年度は、森本由美会員が職業奉仕委員会の委員として活躍されるなど、他クラブの手本となる点が多々あり、それはクラブ運営が良い方向に進んでいる結果だと思っています。

多摩市は、丘陵に恵まれ、鳥などの多くの生物が生息していることで有名です。多摩市のシンボルである鳩には、地域全体が平和で豊かな未来へ躍進するという願いが感じられます。本年度は、新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動の根本が問われていますが、私達がこのコロナ禍を乗り越え、未来へ向かって躍進して行くためには、施す側も施される側も同じ視線に立つ「バリアフリー・マインド」で奉仕活動を実践し、拡大していくことが大切です。

東京多摩グリーンロータリークラブにおかれては、多摩のシンボルである鳩のように、次の 30 年に向かって力強く躍進されることを期待しています。そして、奉仕活動を通じた益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



東京多摩グリーンロータリークラブ 創立30周年に寄せて

国際ロータリー第 2750 地区
ガバナー補佐（多摩東グループ）
関戸 達哉

東京多摩グリーンロータリークラブの創立 30 周年おめでとうございます。峯岸会長、吉沢実行委員長、足立実施委員長をはじめ、すべての会員の皆様が心待ちにし、準備を整えていた記念式典や祝宴が、このコロナ禍で中止のやむなきに至りましたこと、心中お察し申し上げます。

貴クラブは東京調布ロータリークラブの秋山 一様が、多摩東グループより初の第 2750 地区ガバナーを務められた記念すべき年度に、東京多摩ロータリークラブをスポンサークラブとし、私の入会推薦者である由井重光先生を特別代表として創立されました。そして入会して間もない 1995 年 9 月に「親クラブ」の新人として創立 5 周年をお祝いさせて頂き、今年度の 30 周年はガバナー補佐としてお祝いさせて頂くとは、何とご縁が深いことでしょうか。

入会以来 25 年間、同じ多摩市にあるクラブとして、合同例会やメーキャップなどで度々伺わせて頂きましたが、自分のクラブと比べ、メンバーが若く年代も近かったことから、「親クラブ」というよりも「兄弟クラブ」「ライバルクラブ」の一員として、多彩な奉仕活動はもとより、会員数や例会の雰囲気、女性会員、立派な会場、等々年を追って充実されていくさまを眩しく拝見しておりました。そしてその「兄弟」が今年立派に 30 歳を迎えられたことは、家族として、またライバルとして喜びに耐えません。

しかし、多摩市のロータリークラブを取り巻く環境は決して甘いものではありません。バブル崩壊以来長期にわたる不景気、そしてこのコロナ禍で、両クラブとも会員の減少、高齢化が進んでいることは否めません。多摩市ではライオンズクラブやソロプチミストはすでに消えました。そんな今こそ、兄弟クラブが一致団結、協力して奉仕と親睦のロータリー活動を充実させ、延いては地元多摩市の発展や次代を担う青少年の育成に尽くしていくことを、ガバナー補佐として、また兄弟クラブの一員として願っております。お互いに頑張りましょう。



東京多摩グリーンロータリークラブ 創立30周年記念に寄せて

東京多摩ロータリークラブ
会長 飯島 文彦

設立 30 周年、誠におめでとうございます。スポンサークラブの現会長として、峯岸忠会長をはじめとする御クラブの皆様にご心よりお祝い申し上げます。また、この 30 年間、既に鬼籍に入られた方々を含め、この多摩市に多大なる社会貢献をいただいた数々の御クラブの諸先輩方に厚く感謝申し上げます。

約 30 年前の記録を遡りますと、当クラブで拡大の問題が永年、論議されてきた中、御クラブ設立の前年度に篠塚武雄会長が拡大を決定し、そして、由井重光特別代表、高取渡拡大実行委員長、そして石坂文雄会長をはじめとする当クラブ会員各位が支援をさせていただく中、めでたく平成 2 年 9 月 5 日、パルテノン多摩において創立総会が開催され、田中實会長を擁する東京多摩グリーンロータリークラブが誕生されました。

当時の多摩市は、多摩ニュータウンの建設で住民の流入が目覚ましく、約 20 年の間に、市民が 10 万人以上も増加した時期でした。私は大学に在学中でしたが、市の全てが多摩ニュータウン地域に向いているように感じていました。

御クラブ設立の平成 2 年は、人口が約 14 万 2 千人。ようやく多摩ニュータウンもハード面が約 8 割方、完成に近づいてきた頃でした。

これからはソフトの面も充実すべく、この多摩市、多摩ニュータウンにおいて、元から住まわれていた人、地方から大勢やってきた人が心から触れ合い、お互いに思いやり合える地域社会を形成していこう、という時期であったように思います。

そのような中で誕生した御クラブ。ロータリーの奉仕の精神を通じて、市民の絆を深め合いながら、この 30 年間、理想的な街づくりに取り組まれてきた功績は非常に大きいものです。

現在はコロナ禍で「新しい生活様式」が叫ばれています。多摩市も今年は市制 50 周年。新たな 50 年に向け、転換していく時期です。このような時代を更にリードすべく、将来に向け、御クラブが益々ご発展されることを祈念いたします。



東京多摩グリーンロータリークラブ 創立30周年念に寄せて

多摩市長 阿部 裕行

東京多摩グリーンロータリークラブが創立30周年をえられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、この度の記念誌のご発刊、誠におめでとうございます。この間、長きにわたり貴クラブの発展のために多大なご尽力をいただきました歴代の会長の皆様、そして会員の皆様方のご労苦に対し深く敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

東京多摩グリーンロータリークラブが創立された1990年は、京王相模原線の多摩センター駅－橋本駅間の開通、小田急線多摩センター駅－唐木田駅間が開通し、市の人口も14万人に達するなか、ニュータウン開発に伴う急激な発展期から成熟化に向かっていく時期でした。

こうした中、皆様は、障がいテニススクールやプロ・アマチャリティゴルフ大会、特別養護老人ホームへの慰問、防犯パトロールの実施など幅広い分野で活動をされてきました。2015年11月の非核平和年宣言記念植樹式では、多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩・少年少女合唱団」の皆さんの清らかな歌声が花を添え、その時の「被曝アオギリ 2世」は、今、多摩中央公園ですくすくと成長しています。

2020年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となりました。今年に入ってから感染力の強い変異ウイルスの広がり等、今なお厳しい状況にあります。そのようなコロナ禍においても、誰でも食堂へのお米や野菜、味噌の寄附など、人に寄り添い地域に根差した奉仕活動に目を向けていただいていることにあらためて深く感謝申し上げます。

多摩市は、本年11月に市制施行50周年を迎えます。市民の誰もが生涯を通じていきいきと暮らし続けることができる健幸都市（スマートウエルネスシティ）の実現のため、まちぐるみで健幸まちづくりを進めていきます。日々の暮らしを支えていただいている全ての皆さんと力を合わせ、この難局を乗り越えていく決意です。

結びに、東京多摩グリーンロータリークラブの今後ますますのご発展と会員の皆様及び関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



創立30周年記念誌発行にあたり

創立 30 周年記念実行委員長
吉沢 洋景

今年度は当クラブ創立 30 年を迎え、一昨年秋より実行委員会を組織し記念事業、記念式典の準備を進めてまいりました。昨年始めには関連各委員会の計画案がほぼ纏まりました。また今回の記念事業の柱となる当クラブのロタフェロー赤尾和美氏（当クラブ細則・付則を参照）主催の「ラオス小児病院支援」もその方向性が決まり、足立実施委長の尽力によりラオス大使館の大使からも協力頂き、更に式典に参加下さるという望外なお返事を頂戴いたしました。

記念事業の始めとして、現地ラオス小児病院と以前支援したカンボジア小児病院を視察する有志団が結成され 1 月末には出発する予定になっておりました。しかし出発直前になり突如勃発した新型コロナウイルス禍、視察団参加の本人の感染の心配もさることながら世界平和を目的とするロータリーの活動として感染拡大を助長する結果になりかねないとの危惧からやむなく中止せざるを得ないこととなりました。その後感染は瞬く間に世界に拡大しパンデミックの様相を呈して参りましたことは衆知のことと思います。

こうした状況を受け、実行委員会では当初記念式典のみ開催する方向で検討を致しましたが、それどころではないと言う事態に至り、記念式典も中止の決定を下しました。このパンデミック禍の折、恐らく全世界の多くのロータリークラブでその例会でさえ縮小、中止の方向になっていると推測いたします。

このような訳で当実行委員会としても誠に残念ながら記念式典その他関連の事業を中止の結論に至りました。

奉仕プロジェクトとして赤尾和美氏の代表となる「フレンズ ウイズアウト ア ボーダー JAPAN」を支援してゆくことを今後の当クラブのプロジェクトとして継続して行くことと思います。その時、ラオス大使館とのパイプは赤尾氏の活動に大いに役立つことと思います。決して今回の計画が無駄になることはないと確信致します。またラオス・カンボジアの視察もコロナパンデミックが収束すればいつでも可能であると考えます。

本来ならばこの 30 周年記念誌は過去 5 年間の奉仕実績と記念式典の記事、写真で満載になった事でしょう。

我々は創立以来 30 年間ロータリーの奉仕活動に邁進して参りました。今回の 30 周年では当クラブの沿革を始め、行ってきた奉仕の歴史を振り返ってみる良い機会を与えられたとも考えられます。新しく入会された会員方にも、その実績を提示することは当クラブの奉仕の歴史を知り、今後の奉仕活動の参考とする上で、非常に意義のあることと思います。

図らずもこうした機会を得られたことも有り難いことと考え、本誌の内容を企画致しました。

第 1387 回＜ 2020 ～ 2021 年度第 18 回＞ 例会プログラム
～ 30 周年記念事業一部組み入れ～

2021. 5. 19. 12:30 ～ 14:00

- ◎司会・進行 S A A ・ 親睦委員会 伊澤ケイ子
◎開会点鐘 会長 峯岸 忠
◎国歌斉唱「君が代」・ロータリーソング「奉仕の理想」 演奏
◎「四つのテスト」 唱和
◎会務報告 会長 峯岸 忠
◎幹事報告 幹事 守田 亨
◎次年度会務報告 会長エレクト 杉山 真一

【委員会報告】

- ◎各委員会報告
◎出席報告 出席奨励委員会
◎ニコニコBOX S A A ・ 親睦委員会

～ 30 周年記念事業一部 ～

- ◎歓迎の挨拶 会長 峯岸 忠
◎来賓ご挨拶
国際ロータリー第 2750 地区多摩東グループ ガバナー補佐 関戸 達哉 様
スポンサークラブ 多摩ロータリークラブ 会長 飯島 文彦 様
◎ 30 周年記念事業発表 30 周年記念事業式典実行委員会 委員長 吉沢 洋景
◎フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー J A P A N 代表ご挨拶 赤尾 和美 様
◎寄付金贈呈
国際ロータリー第 2750 地区 ロータリー財団委員会
委員長代理 ガバナー補佐 関戸 達哉 様
国際ロータリー第 2750 地区 米山記念奨学委員会
委員長代理 ガバナー補佐 関戸 達哉 様
フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー J A P A N 代表 赤尾 和美 様
多摩消防少年団 団長 荒津内優子 様
◎表 彰
永年表彰 (チャーターメンバー)
皆出席表彰
◎講 評 ガバナー補佐 関戸 達哉 様
◎閉会点鐘 会長 峯岸 忠

〈30 周年記念事業 経過説明〉

2019 年初頭 東京多摩グリーンロータリークラブ

「創立 30 周年記念式典・特別事業 準備委員会」発足

2019 年 7 月 「実行委員会」、「実施委員会」編成。

「マスタープラン、ロードマップ」作成

7 月 「特別事業」を決定

「認証ロタフェロー（注 1）」の「赤尾和美 女史」及び特定非営利活動法人

「フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 代表赤尾和美」のプロジェクト

「ラオ・フレンズ小児病院」の支援。更に、ラオス人民民主共和国と

の友好親善活動を進める

ラオス現地訪問視察団派遣を決定

2020 年 2 月 在本 ラオス人民民主共和国大使館を訪問駐日特命全権大使 ヴィロードス

ンダーラ氏、三等書 官スリデートセングマニー氏と面会

クラブ創立記念式典への臨席・ご挨拶を要請。駐日ラオス人会の紹介を得る

2 月 感染拡大を懸念して「ラオス現地訪問 視察団派遣」をキャンセル

3 月 実行委員会・実施委員会 全体会議にて 念式典の中止決定を理事会に提言

4 月 理事会にて、30 周年記念事業式典中止を決定

(注 1) ロタフェローの認証:東京多摩グリーンロータリークラブ細則「ロタフェロー委員会」は、「ロタフェロー認証」について「ロータリアンではないこと」「クラブにとって、より緊密かつ、友好的関係を保つべく理事会が認証した個人または組織」、「必ずしも集合体としての活動を目指すものではない」とし、また「ロタフェロー委員会」は、「ロタフェローとの関係を継続的に維持し、その活動を支援して発展成長に寄与すること」としています。

特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN





特定非営利活動法人
フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

代表 赤尾 和美

2020 年は世界中のすべての人たちにとって、とても大変な 1 年だったことと思います。そして、思いのほかそれが長期化していることにも今後が予測不可能な状況になることをうかがわせています。

ラオスでは、3 月に初めてのコロナ感染者報告がありましたが、それ以前から政府が国境を封鎖し、国内の人の移動に厳しく規制をかける早急な対応を行いました。また医療現場ではさらに早い時期から緊張が高まっており、ラオ・フレンズ小児病院でも COVID-19 への対応を開始していました。外来診療では、患者さんの最初の問診場所を入り口の外へ移動し、スタッフは、感染予防のための防御をして対応をしました。症状がある患者さんに対しては、直ぐに隣接する県立病院の専門部門へ搬送し、感染が広がらないように動線に留意をしています。これまでも感染予防の対応はしてきましたが、新しいウィルスへの対応のた

めの情報共有と研修が定期的に行われています。ラオスの医療体制では、呼吸器の台数も、それを扱えるスタッフ自体も十分ではないことが政府関係者や医療従事者には危機感となり、何としても拡散を止めなければという危機感につながっているのだと思います。

COVID-19 が、子どもへの影響は軽いということは安心材料の一つではあるものの、ラオ・フレンズ小児病院へもコロナの影響は以下のような様々なところに出てきました。

1. 各国からの専門家ボランティアが一斉に帰国：

世界各国からの医療を中心とした専門家ボランティアが、日々のラオス人スタッフの指導に当たっていました。しかし、COVID-19 の拡大により国境が封鎖される前に一斉に帰国してしまい、また当院へ来ることを予定していた専門家が全てキャン

セルとなりました。そのために、ラオス人のシニアスタッフにかかる責任が一気に増えることになりました。

2. スタッフの安全と業務シフトの変更：

スタッフは常に感染の危険に直面しています。そして、地域の健康を脅かすことがあってはなりません。万が一院内スタッフに感染が発生した場合には、院内から感染が拡散しないようにしなければなりません。そのために、院内のスタッフに呼吸器感染症の症状が出た場合には、自宅待機を指示していましたが、このために急な勤務変更やスタッフ不足により残業を余儀なくされました。

3. 教育：

ラオ・フレンズ小児病院は、院内外の医療従事者のための教育病院としての役割を担っています。しかし、COVID-19の影響により、日々行われていた院内の教育プログラムは一時全て中止し、看護学生、助産師学生など院外からの研修生の受け入れも一時全て中止せざるを得なくなりました。

4. 不急の活動休止：

ラオス政府は、4月1日から約1か月の国内の移動制限も含むロックダウンを行いました。その結果、院内の不急の活動を一時停止することになりました。例えば、緊急でない手術、輸血を必要としないサラセミア（遺伝性の血液疾患）患者さんの定期フォローアップ、障がい児クリニック、訪問看護などです。不急ではありますが、不

要ではないことが気になるところでした。

5. 外来患者数の減少：

政府により行われたロックダウン対策により、ただでさえ十分でない交通機関もなくなり、病院へ来ることができなくなった患者さんがたくさんいました。来院する手段を見つけること、その経費を捻出することがとても困難になってしまったのです。また、COVID-19の感染を恐れて、来院しないことを選択している人々もありました。つまり、本来、医療にかかるべき子どもたちがかかることができずにいたのではないかと考えられました。

6. 医療サプライの確保の問題：

近隣諸国との国境が封鎖されたことにより、医療サプライの入手が困難になりました。ラオス国内で調達できるものはとても限られており、多くのものは隣国からの輸入で賄っています。管財課では多方面へ尽力を尽くし、どうにか乗り切ることができましたが、今後またロックダウンが行われるようなことになった場合には大きな不安が残ります。

今現在までは政府の厳しい政策が継続されており、コロナ感染の拡大が抑えられ幸い市中感染も見られていません。上記の影響も徐々に落ち着きを取り戻してきてはいますが、今後に関しては予断を許さない状況です。万が一、感染が農村部へ拡散してしまった場合、効果的な予防策と言われている手洗いができない地域では、拡散の速

さは日本やアメリカの比にならないことが予想されます。手を洗う水も石鹸、マスクも簡単には手に入りません。そして、医療にたどり着くにも交通手段は乏しく、交通費が捻出できないことは今現在でも大きな問題となっています。また、どうにか医療へたどり着いたとしても満足な医療が受けられる状態ではありません。ですから、何としても感染の拡大を防がなければならぬと感じています。そして、やはり気がかりなのは、COVID-19による感染は抑えることができて、依然、その他の感染症や栄養失調で命が脅かされている子どもたちがたくさんいるということです。病院を運営する東京の事務局では、チャリティイベントの中止による経済的な影響がありましたが、日々来院する子どもたちのために何があっても診療を止めることはできないということを今回再認識するきっかけとなりました。

ました。

コロナ感染の影響で、一つ嬉しい影響もありました。それは、ラオス人スタッフの成長です。指導者となっていた外国人が不在となり、コロナという未知で不安な出来事ですが、スタッフの学びのチャンス、責任が大きくなることによる成長の時となっていることも確かです。子どもたちの命を守る役割を全うしようとするプロフェッショナリズムが、一回り成長したようです。

日本国内における不況も厳しくなる中、東京多摩グリーンロータリークラブ様からの継続支援には感謝の言葉が見つかりません。ありがとうございます。皆さんからのご厚意に沿えるよう、これからもスタッフ一同、一人でも多くの子どもの笑顔になれるように頑張りたいと思います。

【事業決定 ロタフェロー 証 赤尾和美氏】

フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

代表 赤尾和美氏 紹介

看護師（心理認定士、看護学学士、心理学学士）

1999年アンコール小児病院にボランティア参加

2000～2013年同病院にて、HIV・訪問看護の専門家として従事

2009年よりフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 副代表

2016年より代表

フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN の活動

【ラオス】ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)：アンコール小児病院での活動実績をもとに2013年にフレンズが開始したプロジェクト。2015年2月、ラオス北部のアンパバーン県に開院。アンコール小児病院の基本理念である「医療・教育・予防」を踏襲し、ラオスの医療現場の底上げを担っている。

◎ 連団体

【カンボジア】アンコール小児病院

【米国】Friends Without A Border

国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

【クラブ創立30周年 記念事業式典実行委員会組織】

理 事 会 実行委員長 吉沢 洋景 副実行委員長 足立 潤三郎 企画委員会 吉沢 洋景 峯岸 忠 入沢 修自 田崎 博実 初野 有人 守田 亨 萩生田 政由 小泉 博 伊藤 綾乃 (実施委員会立上げにより解散)					
実 施 委 員 会 統括委員長 足立 潤三郎					
総 務 委員会	記念事業 委員会	式 典 委員会	祝 宴 委員会	経理・会計 委員会	広報・記録 委員会
委員長 小坂 一郎	委員長 関岡 俊二	委員長 大松 誠二	委員長 菊池 敏	委員長 村上 久	委員長 伊澤 ケイ子
(副) 小泉 博 遠藤 二郎 萩生田 政由 伊藤 綾乃	(副) 杉山 真一 福岡 均 田崎 博実	(副) 初野 有人 堤 香苗 鈴木 俊之	(副) 林田 敏誠 徳原 透 森本 由美	(副) 大槻 一夫 澄川 昇	(副) 田村 豊 三田 みよ子
・来賓・招待客の選定 ・プログラム、招待状 ・礼状等の作成送付 ・他庶務一式	・記念事業実施 ・記念事業の記録作成 ・記念事業の発表	・会場予約 ・式典企画設営運営 ・司会、進行 ・出演者、来賓接待	・会場予約 ・祝宴企画設営運営 ・来賓接待 ・司会、進行	・予算立案 ・経理事務 ・決算・報告事務	・事務活動の記録作成 ・式典上映DVD編集 ・広報全般

2020 年～ 2021 年



会長 峯岸 忠



幹事 守田 亨

会員総数：29 名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】 ロータリーは機会の扉を開く
 [会長方針]「広げよう奉仕の輪」

国際ロータリー第 2750 地区 福原有一ガバナー：バリアフリー・マインド～ 相手と同じ視線に立つということ

バリアフリー・マインドとは、奉仕をする側もされる側も同じだということ 「心の在り方」です

～その心はロータリーのフレンドシップやサービスの精神に通じます～

＊ 2020 ～ 2021 年度は「クラブ創立 30 周年記念式典・事業」の実施年度の為、以下の「特命委員会」を設置しました

◆「クラブ創立 30 周年記念式典・事業」実行委員会 及び 実施委員会 組織編成

・「創立 30 周年記念式典・事業」実施計画作成
 （計画案は、本誌 19 ～ 21 ページに掲載）

◆クラブ創立 30 周年記念誌「絆でつないだ 30 年」編纂 及び 発行 実施委員会編成

国際ロータリー第 2750 地区多摩東グループ

東京多摩グリーンロータリークラブ

2020 ～ 2021 年度【クラブ運営管理関連委員会活動計画】

●クラブ運営管理関連委員会

1. プログラム委員会卓話としては、クラブ公式行事の早期決定をしていただき、卓話予定を出来る限り早めに準備したい コロナ禍ゆえ、卓話者の招聘が難しくなる可能性があるが、2020 ～ 2021 年度「ロータリーは機会の扉を開く」の実践としてオンラインで卓話者と例会会場をつなぐなど新しい試みも検討し

てみたい

- ①以上を、予算圧迫をしない形で実施する
- ②例会外の自由参加企画としては、現地集合現地解散・享楽性と文化的要素・個人的経験の希少傾向、等を条件に早期・提案をする
2. SAA・親睦委員会 活気あふれる『例会づくり』を目指して
 - ①会員間の信頼を深めるよう細かなアプローチを行う
 - ②委員会全員タスキ掛けを意識し徹底する
 - ③ビジターに対する「おもてなしの徹底」に努める
 - ④親睦行事は「楽しく魅力ある行事」を企画し、積極的に参加を呼びかけ、活性化を図る
 - ⑤サービスの徹底＝クラブ全体の雰囲気づくりを強化する
3. 出席奨励委員会
例会への出席が会員相互の親睦の基本となることを踏まえ、新型コロナウイルスが流行している社会情勢に配慮しつつ、会員各自の出席率を向上させることを目標に、次の通り計画する
 - ①会員の出席率を継続的に記録する
 - ②当クラブ例会に出席できなかった会員に対しては、近隣クラブへのメイクアップを促す
 - ③今年度全例会を皆出席した会員に対して、最終例会で表彰する
4. 会員増強委員会
地域の志ある人にロータリークラブの存在意義、ロータリアンとの親睦の楽しさ等をお伝えし、奉仕活動を通じて、共に地域発展に貢献できるよう入会を促して行く
 - ①会員一人一人が当事者意識をもって入会を促す
 - ②未充填の職業分類を積極的にお誘いする
 - ③多摩地区を中心に入会できる人を絞り込む
5. 会報・記録委員会
「適切な情報発信を目指す」を活動の骨子として、委員全員での協力体制のもと、職務を遂行していく
 - ①地域・社会に対し、当クラブの活動を会報に記録し、広報活動に役立てるよう、情報発信していく
 - ②会員に対し、分かりやすく、そして正確な情報を会報に記録し、お伝えしていく
 - ③毎回の、例会時にて会報を配布する
6. 広報委員会
 - ①多摩グリーンロータリークラブの存在とその活動内容について、地域社会に知っていただく為、URLの記載を依頼するなど地域メディアとの連携を図りながら積極的な広報活動を実施する
 - ②奉仕活動の活動内容の報告をはじめ、イベント告知などホームページの情報をタイムリーにアップデートし、最新かつ正確な情報を提供できるように努める。
 - ③SNSなど最新の情報伝達ツールにアンテナを張り、積極的な導入を検討し、効果的な広報活動を実施するように努める。



7. ロータリー研修委員会

- ① ロータリーの理念等を組み入れた卓話を行い、全会員がそれを共有する
- ② 新入会員を対象とした研修を必ず1回行う

8. ロータリー財団・米山奨学委員会：

- ① ロータリー財団への理解を深め、「世界で良いことをしよう」というモットーを共有する支援プログラムを通じて世界平和に協力する
- ② 2750地区前年度地区重点目標を継続し、支援を続ける 恒久基金寄付ベネファクターについては昨年度より定期寄付プログラムへ2名の新規加入 ポール・ハリス・ソサエティー加入については例年支援している会員の他、新規加入を要請する

9. ロタフェロー委員会

- ① ロタフェローの活動が地域のみならず、広く一般の人に知れ渡るように積極的に広報を行う
- ② 新型コロナウイルスの影響により世界の情勢がどのように変化したのか情報を収集し、必要な支援を行う

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

会員全員が携わることが出来る奉仕活動を目指し、計画実施を行い 奉仕の心を深める

- ① 薬物乱用防止活動に参加協力する
- ② 消防少年団の事業について協力及び支援する
- ③ 「ラオ・フレンズ小児病院」支援プロジェクトとしてNPO 法人 Friends Without A Border Japan の赤尾和美代表と協議し同病院に支援を実施する

2016 年～ 2017 年



会長 小泉 博



幹事 杉山 真一

会員総数：32 名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】 人類に奉仕するロータリー

〔会長方針〕 魅力あるロータリーに（骨太な理想を基本に）

国際ロータリー第 2750 地区 大槻哲也がバナー：「クラブと地区との信頼関係を柱に～」

クラブと地区との信頼関係が絶対的な柱であり、一方で、ロータリアンの価値観が多様化している

新時代を見据えた「クラブ運営」に関心を引きつけることに傾注する必要があると考えています

※国際ロータリー第 2750 地区がバナー補佐に、宮本 誠パスト会長が就任

◆国際ロータリー第 2750 地区多摩東グループインターシティミーティング（IM）開催

昨年度、「クラブ創立 25 周年記念式典・事業」を終了し、本年度は、2016 年～2017 年度会長の方針「魅力あるロータリーに」を掲げてスタート致しました また、本年度は「多摩東グループガバナー補佐」を輩出する年度であり、当クラブが主催する IM が行われた年度でもあります また会員の方々の退会が増えるという残念な事態も生じ、会員増強の必要性を痛烈に考えさせられる年度となりました そのような状況下にあって、各委員会は活発な活動を行っていただきましたことを感謝いたします。

1. プログラム委員会：ロータリークラブの存在意義、基本理念を意識した方針を立て、卓話プログラムは、ロータリーの月間目標に沿った内容で卓話者を人選した 卓話は、地区委員・行政・観光・映画関連・経済専門家・歴史専門家・独立行政法人・地域支援グループの方々を招聘して行われ、有益な内容でありました
2. SAA・親睦委員会：「魅力あるロータリー」に会員が積極的に参加できた 親睦旅行は参加しやすい日帰り旅行を企画、Xmas 例会では「オークション」を取り入れ、大いに盛り上がりました



3. 出席奨励委員会：100% 出席会員を表彰し、奨励することで、出席率向上を目指した
4. 会員増強委員会：残念ながら、結果を出すことが出来なかった
5. 会報・記録委員会：文章にせず、箇条書きにすること、写真の多用、見出しの書き方の一元化などを継続し、判りやすく、読むのが楽しくなるような工夫をしました
6. 広報委員会：「障がい者テニススクール」などの活動を、CATV 多摩テレビ・地域フリー紙などに取材され、多摩グリーン RC の存在を広報することが出来ました
7. ロータリー研修委員会：2016 年の規程審議会（RI）で定款変更が決議され、クラブ細則の整備が必要となりました ・R 財団寄付・米山記念奨学会寄付の意義についての啓蒙活動を行う
8. 募金活動委員会：R 財団寄付 \$ 2855、米山記念奨学会寄付 ￥92,000
9. ロタフェロー委員会：多摩グリーン RC の今年度「認証ロタフェロー」は、2 個人・1 団体です

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1. 2016 年 10 月 13 日、第 14 回「障がい者テニススクール」を開催した ミヤムラテニスセンターの協力のもとで 2003 年度に始まり、途中年度からは多摩市立落合中学校の協力も加わった本プロジェクトも、残念ながら今回で終わりを迎えることとなりました この間、課外授業としてボランティア参加した 1500 人を超える中学生達に“大きな感動と勇気を与えることが出来た”と感じております
2. ラオス小児病院支援：東京多摩グリーン RC の「ロタフェロー」であり、フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 代表の赤尾和美さんを通じて、本年度も注射器 4800 本を寄贈した
3. 「ロタフェロー」・ロタキッド合唱団は、Xmas 定期演奏会・特別養護老人ホーム「白楽荘」での慰問コンサートを行い、クラブの知名度・評価向上に努めた

2017 年～ 2018 年



会長 田崎 博実



幹事 峯岸 忠

会員総数：28 名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】 ロータリー：変化をもたらす

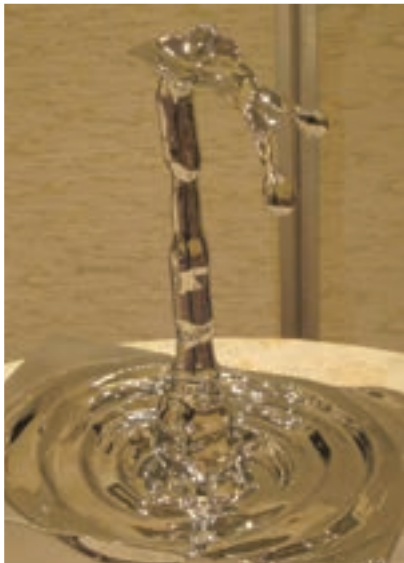
〔会長方針〕「頑張れ！多摩！」

国際ロータリー第 2750 地区 猿渡 昌盛ガバナーあいさつ：地区チームはクラブのためにロータリーの基本はクラブにあります。地区は、各クラブの活性化のためにお手伝いさせていただきます。伝統を守る、或いは柔軟な変化をもたらすか、多様なクラブ誕生の一年であります、充実した一年にしたいと思いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

●クラブ運営管理関連委員会の活動

今年度は、複数の退会者が出るという残念なことになり、会員増強を痛烈に考えさせられる年度となりました。そのような状況の中、各委員会は活発な活動を行っていただきました。

1. プログラム委員会：卓話は、クラブ会員を中心に企画、ロータリー月間に因んで地区委員会から卓話者を招聘、地域力との交流については、行政関係者や地域支援者を招いての卓話を実施しました
2. SAA・親睦委員会：親睦旅行は、参加しやすい「江の島・鎌倉」日帰りツアーを企画、Xmas 例会は、オークションを取り入れて大いに盛り上がり、お花見例会ではバーベキューを企画して、外部からの多数の参加者も受け入れて実施そのほか、新年寿例会や座禅例会を実施
3. 出席奨励委員会：一度だけ、100% 例会出席を記録することが出来ましたが、例会出席を奨励する難しさを改めて認識致しました
4. 会員増強委員会：会員増強は、奉仕・多様性・寛容・友情などの存在意義を問う試金石であるとの認識で活動しましたが、会員減少傾向が固定化しつつある状況からの脱皮には程遠い結果となりました。次年度以降、より具体的な努力目標を掲げるべきと考えます
5. 会報・記録委員会：委員のご協力により、一年間滞ることなく会報をお届けすることが出来ました
6. 広報委員会：主として、ホームページを活用して広報活動を行いました 多摩



キム・キョンミン受賞作品「時間のハーモニー」



キム・キョンミン Rotary Fellow



写真展の開催



クリスマス例会



地域のミニコミ紙「タウンニュース」に、取材記事が掲載され、一定の広報効果があったと思います

7. ロータリー研修委員会：卓話時間を利用して、「ロータリーの手引き（用語集）」から抽出した「重要なポイント」をテーマに、勉強会的な機会を持つことが出来た
8. ロータリー財団・米山奨学委員会（「募金活動委員会」を委員会名改称）：
 ロータリー財団 寄付実績 \$443.06（クラブ）\$1893.29（会員個人）
 米山記念奨学会 寄付実績 ¥42,000（クラブ）¥57,672（特別寄付）（Xmas 例会時オークション分含む）
 九州豪雨災害 台湾地震に関する義援金 ¥51,040 を寄付した
9. ロタフェロー委員会：予算額の制限もあるが、今年度は、赤尾和美ロタフェローが関与される「ラオ・フレンズ小児病院」への「医療機器」寄贈を、「奉仕プロジェクト」として実施した「ロタキッド合唱団」のコンサートに出席、更に、キム・キョンミンロタフェロー、赤尾和美さんを、それぞれ例会に招待して交流を深めた 今後、「根の深い活動」を続けていく上で、予算がなくても「何が出来るか」を会員一人一人が考えることが大切だと感じた

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

- 1) ◆写真展の開催：会長テーマ「頑張れ！多摩！」をテーマに、2017年11月9日～11月14日「多摩をきれいに、多摩の美化集団と美しい風景写真展」（於 京王百貨店 聖蹟桜が丘店ギャラリー）を開催 ご覧になられた市民の方々に、多摩グリーンRCの活動の一端を感じ取っていただけたのでは？・・・ないでしょうか？
- 2) ◆ラオス小児病院支援プロジェクト・注射器 4000 本を寄贈（現地子供達の治療に貢献して居ると思います）

2018 年～ 2019 年



会長 三田 みよ子



幹事 菊池 敏

会員総数：26 名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】 インスピレーションになろう

〔会長方針〕「増強から広げる」地域に寄り添う活動を

国際ロータリー第2750地区 服部陽子ガバナー:インスピレーションになれるロータリークラブに！

地区内のロータリークラブが、それぞれ良いインスピレーションとなって地域を、世界をより良い場所に変えてください

●クラブ運営管理関連委員会

1. プログラム委員会：・クラブ会員による卓話を年に 18 回行う ・ロータリー活動月間は、地区委員会の方を卓話者として招聘・多岐にわたる職業の方々を卓話者としてお招きし「地域交流」を促進した
2. SAA・親睦委員会：・親睦行事の一環で、静岡県沼津方面&三島スカイウォーク周遊お花見バスツアー
 - ・新年「寿例会」を多摩ロータリークラブと合同で行う
 - ・恒例の「座禅例会」に他クラブ会員も参加
 - ・Xmas 例会は「オークション」を取り入れ、例年同様に盛り上がりました
3. 出席奨励委員会：例会出席を促すため、会員に「声掛け」を行った
 - ・当初の目標は、「100%の出席を目指す」ということでガンバリましたが、とてもとても大変で、実現不可能な目標であったと実感しています
4. 会員増強委員会：目標とした会員数、30 名を達成した（4 名純増）
5. 会報・記録委員会：公式記録としての会報の役割を重視 会長・幹事の報告事項は「正しく記録・伝達」した 臨場感と独自性のある会報であるため、作成者それぞれの個性で各号の紙面を纏めていただいた
6. 広報委員会：ホームページ等を通じてクラブの活動内容や会員情報メンバーの紹介などを行った 関連 団体広報誌に、クラブが関与した活動や協賛情報が掲載された



団員にキャップ帽子を寄贈



三島 日本の大吊橋



三島スカイウォーク



三島バス旅行

7. ロータリー研修委員会：新入会員に「クラブ定款」、「クラブ細則」、「ロータリー用語集（改訂版）」を提供し、「ロータリーのあり方」についての研修を行った
8. ロータリー財団・米山奨学委員会（「募金活動委員会」を委員会名改称）：
R 財団寄付実績 \$ 260（クラブ）、\$ 2693.16（会員個人）
米山記念奨学会寄付実績、¥39,000（クラブ）、¥255,000（会員個人）
他、日本国内外の災害義援金を募った
9. ロタフェロー委員会：赤尾和美ロタフェローを通じて「ラオ・フレンズ小児病院」支援プロジェクトを実施した

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1) ◆多摩消防少年団支援

- ・ 8 月 5 日～ 6 日、消防少年団野外キャンプ（多摩市立八ヶ岳少年自然の家 泊）へ同行（クラブ幹事・奉仕プロジェクト統括委員長）、・団員にキャップ帽子（60 個）を寄贈した
- ・ 11 月 18 日、東京消防庁第 9 方面消防救助機動部隊庁舎・訓練施設見学
- ・ 永山駅前清掃活動を少年消防団と協働で行った
- ・ 3 月 3 日、春の火災予防活動パレードに参加し消防少年団と共に多摩市内をマイクロバスにて走行 多摩センター駅頭にてポケットティッシュを市民に配布して「防災意識啓発」を呼びかけた

2) ◆ラオス小児病院支援プロジェクト

- ・ 「ラオ・フレンズ小児病院」支援プロジェクトの一環で、注射器 4000 本を寄贈した
- ・ 「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加
- ・ 国内外災害支援義援金拠出協力

2019 年～ 2020 年



会長 入沢 修自



幹事 田崎 博実

会員総数：29 名（年度始時名簿記載）

【RI 会長テーマ】 ロータリーは世界をつなぐ

〔会長方針〕 地域とつながるロータリークラブ

国際ロータリー第 2750 地区 浅田 豊久ガバナー:5000 人の仲間をつなぐロータリー時計は止まってくれません、今こそ私たち 2750 地区は手を取り合って前進し、行動し、地域から信頼される組織、団体になろうではありませんか。一緒に手をつないで頑張りましょう

◆「クラブ創立 30 周年記念式典・事業」 実行、実施 準備委員会編成

●クラブ運営管理関連委員会

「クラブ創立 30 周年」の準備年度として、本年度は、クラブを一つにまとめるべく活動したが、年度後半は「新型コロナウイルス感染拡大」により、十分な「クラブ活動」が出来なくなりました「真に残念です」

他方で、この世界規模の大災害は「ロータリークラブの在り方」について考え直す切っ掛けにもなりました ロータリークラブが掲げる「クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕」とは何なのか？・・・を再確認させられた一年となりました

1. プログラム委員会：行政の担い手である「市長」や、地元で活躍されている方の卓話、本年度の奉仕プロジェクトである「薬物乱用防止」に関する「スライド映写」を行ったほか、留学生による卓話等、実施しようとしていたプログラムのほんの一部ではあるが、バラエティーに富んだ卓話を実現できた
2. SAA・親睦委員会：例会では、「礼儀」を重んじて国内外のお客様をお迎えするなどして、会員との交流を深めることが出来た Xmas 例会は、京王プラザホテル多摩料理長と事前にメニュー相談して、来会されるお客様に美味しい料理を提供できるようにした 東京多摩 RC と合同で行う「新年寿例会」までは、実施できたが、その後の 2020 年 1 月以降に予定していた「例会・夜例会・花見例会・座禅例会」などは中止にせざるを得なくなった
3. 出席奨励委員会：他クラブでの「メイクアップ」の推奨は概ね実行できたが、会員各自の出席率向上は充分とは言えず、下期に挽回の機会も失われてしまい



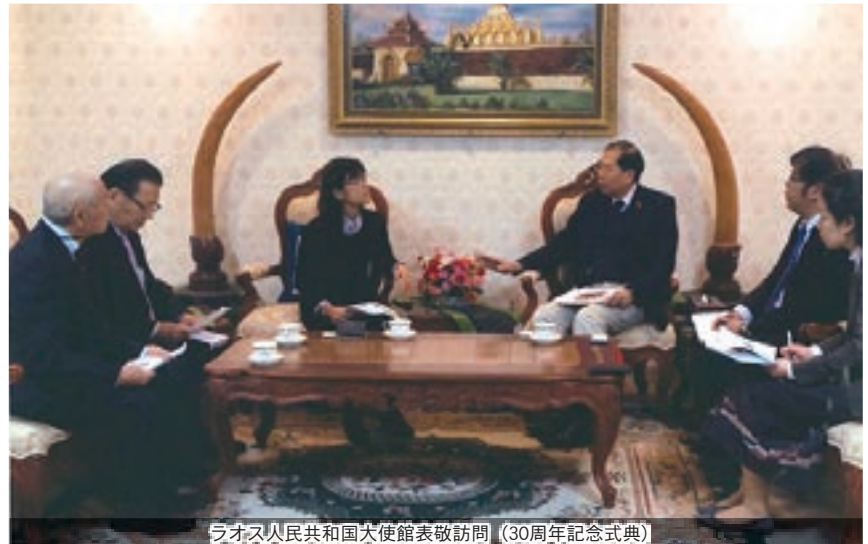
座禅会



実施委員会作戦会議



薬物乱用防止ポスター選考会



ラオス人民共和国大使館表敬訪問 (30周年記念式典)

ました

4. 会員増強委員会：委員の一人一人が、身近な方をお誘いし、幸いなことに未充填職業分類の方1名の入会が実現できた
5. 会報・記録委員会：2019年度～2020年度、会務報告・幹事報告・各委員会関連報告、特にクラブ運営に必要な事項に関する情報を、「正しく」「遅滞なく」「個性のある」伝達が出来た
6. 広報委員会：クラブの知名度向上を図るべく、地域に根差した広報活動を行った ホームページの内容を検証した
7. ロータリー研修委員会：予定していた研修は殆んどできなかった ロータリー用語や、活動計画書についての説明を随時行った
8. ロータリー財団・米山奨学委員会（「募金活動委員会」を委員会名改称）：
 - ・地区重点目標の、「恒久基金（ベネファクター）」協力者2名、「ポール・ハリス・ソサエティー」加入者3名の実績を残した
 - ・2020年秋の災害時には「災害義援金」募金、地区から要請の、災害義援募金についても実績を残した
9. ロタフェロー委員会：クラブ会員がロタフェロー活動を理解できるよう 随時説明を行った
ロタフェローの活動が、地域に知れ渡るよう広報活動を行った

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

- 1) 薬物乱用防止活動：世間に薬物乱用の危険性を訴えるクリアファイルを作成したり、クラブ会員向け「薬物乱用防止」をテーマにした卓話を行った
- 2) 多摩消防少年団支援：多摩消防少年団の「防災キャンプ」等に参加した
- 3) 「ラオ・フレンズ小児病院」支援：活動支援金として¥300,000を寄贈した
- 4) その他：理事会承認が得られた案件につき、その都度、募金協力などを行った

会員名簿



足立 潤三郎

＜青果仲卸業＞
入会日：1990/9/5



遠藤 二郎

＜総合建設業＞
入会日：1990/9/5



菊池 敏

＜楽器販売・修理＞
入会日：1990/9/5



吉沢 洋景

＜内科医＞
入会日：1991/3/20



小坂 一郎

＜医薬品販売＞
入会日：1991/9/25



村上 久

＜空調工事＞
入会日：1992/7/21



関岡 俊二

＜仏 教＞
入会日：1993/4/23



伊澤ケイ子

＜歯科検診＞
入会日：1994/11/16



小泉 博

＜水道工事＞
入会日：1996/8/7



萩生田 政由

＜都市環境管理＞
入会日：2003/4/2



三田 みよ子

＜生命保険＞
入会日：2009/10/2



杉山 真一

＜運送業＞
入会日：2010/6/25



入沢 修自

＜司法書士＞
入会日：2012/1/4



堤 香苗

＜マーケティングコンサルタント＞
入会日：2012/1/26



田崎 博実

＜弁護士＞
入会日：2012/6/20



峯岸 忠

＜不動産管理＞
入会日：2013/7/2

会員名簿



森本 由美

＜印刷＞

入会日：2013/7/11



田村 豊

＜内科医＞

入会日：2014/7/25



林田 敏誠

＜葬祭業＞

入会日：2016/2/3



初野 有人

＜歯科医＞

入会日：2016/3/29



徳原 透

＜都市ホテル＞

入会日：2016/6/23



守田 亨

＜不動産＞

入会日：2017/7/2



福岡 均

＜不動産＞

入会日：2018/9/6



大槻 一夫

＜税理士＞

入会日：2019/4/2



伊藤 綾乃

＜弁護士＞

入会日：2019/4/23



鈴木 俊之

＜百貨店＞

入会日：2019/7/10



石井富士男

＜生花販売＞

入会日：2020/2/5



米津 正五

＜木造建築＞

入会日：2020/7/15

米山奨学生名簿

	世話年度	留学生名	大学・大学院名	学年	カウンセラー	奨学期間
1	1994-1995 1995-1996 1996-1997	宋 ミンヨン (韓国)	東京都立大学 人文科学研究科教育学専攻(大学院博士課程)	1～2	吉沢 洋景	1995.4～1997.3 (博士号取得)
2	1997-1998 1998-1999 1999-2000	ウダワッタ・カン カナンゲ・サマ ン・キールティ (スリランカ)	東京農工大学 工学部電子情報工学科(学部課程)	3～4	田島 真由美	1998.4～2000.3
3	1998-1999 1999-2000	呉 凱文 (台湾)	中央大学 商学研究科商学専攻(修士課程)	2	杉山 英巳	1999.4～2000.3
4	1999-2000 2000-2001	劉 栄華 (中国)	一橋大学 言語社会研究科言語社会専攻(博士課程)	3	小坂 一郎	2000.4～2001.3
5	2000-2001 2001-2002 2002-2003	リサー・オリヴィア (インドネシア)	東京農工大学 工学研究科応用科学専攻(修士課程)	1	遠藤 二郎	2001.4～2003.3
6	2002-2003 2003-2004 2004-2005	金 今善 (韓国)	東京都立大学 社会科学研究科政治学専攻(大学院博士課程)	2	杉野 志保子	2003.4～2005.3 2005.4～2005.9 (C Y 奨学金)
7	2005-2006	李 基平 (韓国)	東京都立大学 社会科学研究科社会福祉学専攻(大学院博士課程)	3	根本 泰守	2005.4～2006.3
8	2006-2007 2007-2008	金 景国 (韓国)	多摩美術大学 美術研究科美術専攻(大学院博士課程)	3	澄川 昇	2007.4～2008.3 (博士号取得)
9	2007-2008 2008-2009	畢 波 (中国)	電気通信大学 情報システム学研究科社会知能情報学専攻(修士課程)	2	相京 孝明	2008.4～2009.3
10	2009-2011	李 炯宙 (韓国)	電気通信大学 電気通信学研究科情報工学専攻	1	津守 弘範	2009.4～2011.3
11	2011-2012	何 超 (中国)	電気通信大学 電気通信学部情報通信工学科	4	宮村 宏	2011.4～2012.3
12	2014-2016	スラミニットクン・ ノピパット (タイ)	拓殖大学 ロボットコース	3	大松 誠二	2014.4～2016.3

R 財団国際親善奨学生 (受入)

	世話年度	留学生名	大学・大学院名	学年	カウンセラー	出身国
1	2000-2001	セーブル・リス トビアス	国際基督教大学	1	根本 泰守	スウェーデン
2	2009-2011	張 恵隣	恵泉学園大学	2	村上 久	韓国

R 財団国際親善奨学生（派遣）

	世話年度	留学生名	大学・大学院名	学年	カウンセラー	出身国
1	1993-1994	副 田 景 子	東洋英和女学院大学	3	北 村 幸 彦	シンガポール
2	2001-2002	安 室 可 奈 子	日本大学大学院 芸術学研究科	1	大 松 誠 二	フ ラ ン ス
3	2006-2007	内 山 知 一	一橋大学 東京都高校教員	卒業	伊 藤 英 也	ア メ リ カ
4	2008-2009	仲 田 宗 行	中央大学 総合政策学部政策科学科	4	篠 崎 一 雄 ↓ 吉 沢 洋 景	イ ギ リ ス

青少年交換学生名簿（受入）

	来日年度	交換学生名	高等学校名	学年	カウンセラー	ホストファミリー
1	1995-1996 (8月来日) 1996-1997 (8月帰国)	メッテ・アルス・オールセン (デンマーク) 18歳	富士見丘高校	3	宮 本 誠	風 間 茂 穂 関 岡 俊 二 宮 本 誠 夫 大 熊 将 夫
2	1998-1999 (8月来日) 1999-2000 (7月帰国)	サイト・ファティ・アラギョス (トルコ) 18歳	多摩大学付属聖ヶ丘高校	2	赤 尾 恭 雄	根 本 泰 守 北 村 幸 彦 足 立 潤 三 根 本 泰 守
3	2001-2002 (8月来日) (9月強制送還)	エミリー・オデット (フランス) 18歳	多摩大学付属聖ヶ丘高校	2	海 野 榮 一	宮 本 誠
4	2010-2011 (7月来日) (3月帰国)	ジェシカ・ヴィッヒマン (ドイツ)	多摩大学付属聖ヶ丘高校	2	宮 本 誠	

青少年交換学生名簿（派遣）

	世話年度	留学生名	大学・大学院名	学年	カウンセラー	出身国
1	1991.3～ 1992.3	野 沢 麻 衣 子	多摩大学付属聖ヶ丘 高校	2	風 間 茂 穂	ア メ リ カ
2	1993.3～ 1994.3	綱 沢 志 津 子	都立狛江高校	3	村 上 久	ア メ リ カ
3	1993.3～ 1994.3	山 中 い ず み	多摩大学付属聖ヶ丘 高校	1	高 野 範 城	ア メ リ カ
4	1996.3～ 1997.3	鈴 木 な つ み	都立南野高校	2	津 守 弘 範	ブ ラ ジ ル
5	1996.7～ 1997.4	和 気 真 菜	都立国際高校	3	遠 藤 立 一	タ イ
6	1996.8～ 1997.8	小 野 直 美	国立学芸大付属高校	2	田 中 實	ア メ リ カ
7	1997.8～ 1998.8	三 好 雄 二	国立筑波大付属駒場 高校	2	橋 口 洋 三	カ ナ ダ
8	2001.3～ 2002.4	平 川 貴 美 子	多摩大学付属聖ヶ丘 高校	2	杉 野 志 保 子	オーストラリア
9	2001.8～ 2002.8	山 岡 聖 子	多摩大学付属聖ヶ丘 高校	2	村 上 久	フィンランド
10	2011.7～ 2012.7	細 谷 愛 菜	下北沢成徳高等学校	1	遠 藤 二 郎	ド イ ツ

——創立5周年記念事業——

創立5周年記念事業「チャリティーコンサート」

明治大学マンドリンクラブ

日 時：1995年8月9日（水曜日）

場 所：パルテノン多摩大ホール

時 間：開場 17：30

開演 18：30

演奏曲目：第一部 古典音楽

第二部 我が心の詩

第三部 マンドリンファンタジー

記念式典・懇親会

第一部 式典

（第237回例会）

○司会

幹事 橋口 洋三

○点鐘

会長 萩生田茂夫

○開会の辞

会長 萩生田茂夫

○国歌斉唱・ロータリーソング

ソングリーダー 菊池 敏

○ご来賓紹介

会長 萩生田茂夫

○参加クラブ紹介

実行副委員長 古澤 洋景

○歓迎の挨拶

実行委員長 田中 實

○経過報告

東分区代理 渡辺 晴俊

○ご来賓挨拶

多摩市長 白井 千秋

バストガバナー 秋山 一

東京多摩RC会長 福井 孝

特別代表 由井 重光

実行委員長 田中 實

会長 萩生田茂夫

○記念事業発表

○寄付贈呈

ロータリー財団・米山英学事業・バギオ基金

○記念品贈呈

直前会長 宮本 誠

秋山 一バストガバナー

由井重光特別代表

石坂文夫東京多摩RCバスト会長

○奨学生紹介

青少年交換委員会 中山 恒武

網沢志津子

メッテ・アルス・オールセン

和気 真菜

◎100%出席者記念品贈呈

◎閉会の辞

◎点 鐘

小野 真美

鈴木なつみ

実行副委員長 杉田 誠

実行副委員長 小城 章員

会長 萩生田茂夫



第二部 祝 宴

◎司会

◎開会挨拶

◎ご来賓挨拶

◎乾杯

◎閉宴挨拶

◎「手に手つないで」

白井 博

会長 萩生田茂夫

東京稲城RC会長 竹村 寛

会長エレクト 遠藤 二郎

副会長 足立潤三郎

ソングリーダー 菊池 敏

創立10周年記念式典・事業

日時：2000年9月5日 火曜日
場所：京王プラザホテル多摩
登録開始：14：00

第一部 式典

(第467回例会)

会場：4階アポロの間
15：00～16：00

第二部 記念講演会

会場：4階アポロの間
16：15～17：50

講演テーマ「エジプト文明からみた地球環境」

講師 早稲田大学教授（工学博士）
早稲田大学エジプト学研究所所長 吉村作治氏



第三部 祝宴

会場：3階 白鳳の間
18：00～19：30



○開宴の言葉

○挨拶

○祝辞

○祝辞

○乾杯

親睦活動委員長

会長

創立時ガバナー

特別代表

多摩東グループガバナー補佐

小泉 博

津守弘範

秋山 一

由井重光

竹腰昌明



○アトラクション

お囃子 一之宮小野神社はやし連

ピアノ

菊池 涼世



○閉宴の言葉

○「手に手つないで」

実行委員長

ソングリーダー

赤尾 恭雄

菊池 敏



10周年集合写真

創立15周年記念事業アルバム

日時：2005年9月1日 木曜日
場所：パルテノン多摩 小ホール
登録開始：15:00

多摩グリーンロタキッド・クラブ 「心の詩少年少女合唱団」結成発会式

- ・歌唱指導：指揮者 都司 博、鈴木直人
- ・ピアニスト：田中富士子、藤原真理
- ・曲目「ロマンチックな豚」「小さな木の実」



- ・応援出演 「荒川少年少女合唱団」「オーケストラとうたう子供合唱団」による「チコタン」他2曲





◎「ロータリー100周年記念専門職務奉仕賞」授与式 横倉舜三氏



◎皆出席表彰
5年 田島真由美
10年 菊池 敏、吉澤洋景、村上 久、杉田 誠
15年 赤尾恭雄、小城章員、田中 實、海野栄一

◎謝 辞
◎点 鐘

会長ノミニー 関岡俊二
会長 北村幸彦



15周年式典集合

20周年記念式典・事業

第一部 式典

日時：2010. 10. 23 14:00～16:40

場所：パルテノン小ホール

第二部 祝宴

日時：2010. 10. 23 17:30～19:30

場所：京王プラザホテル多摩 白鳳



<2010～2011>



<2010～2011>



20周年記念式典



<2010～2011>



指揮：鈴木 直人 ピアノ：越前 佳織

<2010～2011>



<2010～2011>



2010年10月23日 創立20周年東京多摩グリーンRC

第962回 移動例会 よこやまの道 散策

日時：4月5日(火) 10:30～

例会：「さと」13:30～

解説：古街道研究家・歴史古街道団団長
宮田 太郎様



有望な選手 西村選手の技

<2010～2011>



<2010～2011>

◎多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩・少年少女合唱団」(15周年記念事業)の成長報告



*活動経過報告・・DVD映写

*コンサート

指揮 鈴木 直人
ピアノ 越前 佳織

<2010～2011>

25周年記念式典

日時：2015. 10. 7
場所：京王プラザホテル多摩 白鳳



岡山西南ロータリークラブとの交流会

＜多摩グリーンロタキッドクラブ
「心の詩・少年少女合唱団」のお知らせ＞

昨年12月23日（祝）第10回定期コンサートが
関戸公民館グリータホールで行われ、引き続き
12月25日（金）京王プラザホテル多摩2Fで
クリスマスミニコンサートを行いました。

～テーマは「多摩自慢」～



＜2015～2016＞



祐乗坊 進



篠原 恵一



松原 和男



◎親睦旅行 in 鬼怒川・日光

11月8日(日)多摩センターを出発～

大谷資料館
到着。
大谷の中で
ヒンヤリ



<2015～2016>



船場亭で昼食
鬼怒川を眺めながら
鮎の塩焼き



いろは坂を
経て華厳の
滝で



<2015～2016>

Who am I ?

あの子はたあれ
たれでしょね



かわいい路野くんじゃありませんか

新企画 (自慢の写真)
第一回の正解は
海野栄一さん

<2015～2016>

Who am I ?

あの子はたあれ
たれでしょね



Don't miss our <2015～2016>

新企画 第2回 (自慢の写真)
みんなに「可愛いね」と言われ
照れ屋さんですが、良い子でした



2015年10月7日・東京多摩グリーンロータリークラブ・25周年式典

30年の業績



<1990~1991>

多摩グリーン・ロータリークラブ
初代ガバナー秋山



油井特別代表



～諏訪大社上社～SUWAガラスの里・北澤美術館見学
～間欠泉～エキシブ蓼科(泊)



国際大会の数々



＜2003～2004＞



＜2003～2004＞



＜2003～2004＞



＜2003～2004＞



＜2003～2004＞



＜2003～2004＞



大阪国際大会



国際大会



＜1993～1994＞

＜1998～1999＞



宇州 石和温泉郷 石和びらーほーむ 2003年4月10日



南極の水



TAMA50歳21 自主企画プログラム

人がまちをつくる——高齢化社会を迎えていこう。

自主企画プログラム
TAMA50歳21

新しい多摩を考える・シンポジウム

「記念講演」
多摩に期待するもの

■10月25日月 午後8時・9時

■パルテノン多摩(小ホール)

※入場無料(自由席)

【講演】
多摩大学学長 野田一夫 氏

多摩に住み、多摩の未来を考える

(パネルディスカッション)

(17分30秒)

- 田 中 公 二 氏 (多摩大学センター特別員 代表取締役社長)
- 奥 田 昌 三 氏 (多摩ニュータウンデザインズ代表)
- 藤 野 勉 夫 氏 (作家)
- 田 中 公 二 氏 (同席)

【これまでに多摩】
多摩は人口が急増し、人口の急増がもたらした新しいまちづくりが、多摩の発展に大きく貢献してきました。しかし、多摩の発展は、人口の急増だけではなく、多摩の発展のあり方を考えることが必要です。

【これからの多摩】
多摩はこれからもっと発展していく必要があります。多摩の発展は、人口の急増だけではなく、多摩の発展のあり方を考えることが必要です。多摩の発展は、人口の急増だけではなく、多摩の発展のあり方を考えることが必要です。

```

graph TD
    A[主催/新しい多摩を考える・シンポジウム実行委員会] --> B[後援/多摩市・東京多摩グリーンコーポレーション・多摩ニュータウンデザインズ]
    A --> C[協賛/パルテノン多摩・多摩青年会議所・多摩都市交通建設公社]
    A --> D[協賛/TAMA50歳21協会・関係各社]
    
```

主催／新しい多摩を考える・シンポジウム実行委員会
後援／多摩市・東京多摩グリーンコーポレーション・多摩ニュータウンデザインズ
協賛／パルテノン多摩・多摩青年会議所・多摩都市交通建設公社
協賛／TAMA50歳21協会・関係各社



A photograph of three men standing in a bamboo forest. The man on the left is wearing a grey jacket and a red cap. The man in the middle is wearing a blue jacket and a blue cap. The man on the right is wearing a dark blue jacket and a dark cap. They are all holding bamboo poles.

A group of people, including several men with mustaches, posing for a photo indoors. Some are wearing costumes or props.

多摩東分地区野球大会・3位入賞



車椅子体験



實田修司選手
アデネパラリンピック
金メダリスト



創立20周年記念事業



国枝慎吾選手
北京パラリンピック
金メダリスト



永山中学校校長
謝辞



市民総合相談会開催中
相談無料

日 期
10月29日(金)・30日(土)・31日(日)の3日間
各日 午前10時から午後4時まで

相談内容
10/29(金)
建築・不動産・登記
10/30(土)
法律・青少年・税務・公証
10/31(日)
医療・健康・福祉

相談会場
東京多摩グリーンロータリークラブ
とその会館(専門版)





<2015.04.02>
証券取引所、浅草慰安旅行



<2014～2015>

講演会

私はこう考える 「多摩市 安心・安全な街づくり」

行政トップの「多摩市長・多摩中央警察署 署長・多摩消防署 署長」が語ります。

今こそ、
私たち市民と行政が
力を合わせ知恵を出し合い、
行動しましょう。

講演会

【日時】
2007年10月31日(水曜日)
午後2時～午後4時40分

【場所】
パルティナ多摩小ホール/入場無料

【講師】
多摩市長 酒田 幸子市長
多摩中央警察署 五郎 伸次署長
多摩消防署 大江 理一署長

【企画主催】
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

【連絡先】
TEL 042-372-6463
FAX 042-372-6491
E-mail tamagreen@cellova.co.jp



<2009～2010>

《8/25～8/27 ロタキッドハロウィン大会》
一晩から先まで活動した練習、最後の日はハイキング



入道山 山頂より5m



<2013～2014>



特別養護老人ホーム「白楽荘」慰問 (ロタキッド・みゆき幼稚園)



《普通急救救命講習》

○多摩消防署副署長 ご挨拶 安部 幸志様
皆様方には、日頃から多摩消防の事業に何かと
ご協力を頂き誠にありがとうございます。
救命講習をしっかりと受講して頂き、地域で
役立てて下さい。宜しくお願いします。



<2009~2010>

● 金銭報告でもご報告しましたが、委員の皆さんの募金
協力の功でアンコール小児病院の子供たちと、多数
の遊具を寄贈できました。お礼のメールと写真が、届
きましたので報告します。



<2011~2012>



ラオス大使館



万博見学
ロータリー館にて
移動例会

ロープソーで切取られた
赤レンガの積み重ね
（奥側）のわけてもレンガの
積み重ね



日本経済新聞社

<2005~2006>



絆でつないだ 30 年（30 周年記念誌）

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

クラブ創立 30 周年記念式典・事業」を振り返って

2020 年 9 月 26 日に「クラブ創立 30 周年記念式典・事業」を開催する計画を準備しておりましたが、2020 年 1 月に顕在化した「新型コロナウイルスのパンデミック」の影響を受け、プログラムのすべてを変更せざるを得ないという残念な経過となりました。

クラブの創立～初期年度活動の概要

当クラブは、東京多摩ロータリークラブをスポンサークラブとして 1990 年 9 月 5 日に創立されたクラブです。創立総会時の会員数は、親クラブからの移籍者 2 名を含め 33 名、平均年齢は 50.9 歳でした。1990 年 10 月 26 日に国際ロータリーへの加盟が承認され、「認証状伝達式」は 1991 年 3 月 25 日、開場直前のサンリオピューロランド全館を借切って開催されることとなりました。当日に備え、全会員一丸となってキャラバン隊を編成し、近隣クラブ（東京都全域・埼玉県・山梨県・神奈川県等）への勧誘活動の結果、会員数 33 名の 100 倍近い総計 3,182 名もの参加者を得、空前絶後の規模で盛大に行われました。チャーターメンバー（創立総会時在籍会員）の熱意と行動力には、改めて感嘆させられる思いです。

当初、「クラブ事務局」は多摩センター駅前のビル内にあって、「例会場」は、多摩そごうデパート 7 階のバンケットルーム（サファイア）という会場でした。

1995 年～ 1996 年度になって、先ず「事務局」が増築されたばかりの京王プラザホテル多摩新館 5 階に移り、1996 年 7 月 1 日からは、「例会場」も同ホテル新館 5 階の宴会場に移転しました。地元唯一の都市型大規模ホテルにある「事務局」及び「例会場」は、駅に近く、駐車場も豊富で、フロント階には喫茶室があり、利便性が高く、申し分のない環境が整いました。

この間 30 年、各年度の熱心な活動が支えとなりクラブは着実に成長、数々の実績を築いて参りました。

女性会員の存在は、21 世紀の今では珍しくもありませんが、2750 地区で“女性会員”を最も早く受け入れたクラブは当クラブです（1992 年 9 月 24 日入会）以降、女性会員は延べ 14 名に達し、会長、幹事、理事、地区委員 等と、活躍されてされました。（現在女性会員 5 名）

1996 年 8 月、会員相互の「絆」を醸成発展させる工房として、職業奉仕委員会主導の「絆工房」（提唱者は赤尾恭雄職業奉仕委員長）がありました。毎例会後に直ちに散会するのではなく、月に 1～2 回、例会後の 1 時間～1 時間半ほど、喫茶室などに場所を変えて、職業上の問題や社会問題などを気楽に話し合う「自由参加」の集まりです。「絆工房」は 3 年間ほど継続され、やがてその話題は「よもやま談議」に代わり、現在でもその習慣は続いています。今想うと「職業奉仕の原点を探る研修の場」である以上に、会員相互の「理解と親睦」を図る「ふれあいの場」であったように感じています。

さらに、地元の「多摩 TV やミニコミ紙・誌」との関係も良好でした。TV 放送でのニュース発信はもとより、地域市民（世帯数 3～5 万戸）に無料で配布される新聞折込のタウン紙には、しばしば当クラブの活動に関する記事が掲載され、市民とロータリークラブを結ぶ架け橋となっており

ました。

今現在(2020年～2021年度)の会員数は29名で、最多年度(1997～1998年度)の会員数(57名)と比較すると半減状態ではありますが、若い世代の会員も多く今後の活躍が期待されます。

クラブの活動事例（要約）

当クラブの特別事業：初期年度の「モンゴルの子供達に文具を贈る」援助活動「ガバナー特別賞」受賞及び「モンゴル国科学教育大臣より感謝状」授受(1991～1992年)を手始めに、「バランスの取れたクラブ業績」に対する「RI会長賞」及び「ガバナー賞」受賞(1992～1993年)、「新しい多摩を考える」シンポジウムの開催(1993～1994年)、モンゴル看護研修生(4名)招待、「社会への思いやり」に対する「RI会長賞」(1994～1995年)、チャリティーコンサート実施(クラブ創立5周年記念事業)、消防署PRへの助力、交通安全の設備援助、多摩署管内駐在所家族例会招待などの活動、カンボジア「地雷除去及び地雷被害者救済(義肢・義足製作技術者育成)」活動支援(1999～2000年)、専門職会員による「市民総合相談会」実施とそれに関わる「広報活動」は「RI会長 意義ある業績賞」及び「ガバナー特別賞」を受賞(1999～2000年)、「エジプト考古学者の講演会」(クラブ創立10周年記念)、高齢者支援をテーマにしたイベント「高齢期をいかに楽しく生きるか」(2001～2002年)は「ガバナー賞」受賞、「ボランティアって、なに？」(2002～2003年)、「地域に手を貸そう」プロジェクトは「RI会長賞」「ガバナー賞」受賞(2003～2004年)、よこやまの道記念碑建立(2004～2005年)、多摩グリーン「ロタキッド少年・少女合唱団」結成(クラブ創立15周年記念事業)は「ガバナー特別賞」受賞、2005年ロータリー100周年記念、市内巡回の「交通安全&防犯パトロール」(2006～2007年)、講演会・広報活動「私はこう考える 安心・安全な街づくり」(2007年～2008年)は、「RI会長 対外広報“共同プロジェクト最高賞”」及び「ガバナー特別賞」「2750地区広報賞」をそれぞれ受賞、『CLPの導入：クラブ委員会組織が「クラブ運営管理関連委員会」と「奉仕プロジェクト関連委員会」の二系統に分類」(2007年～2008年)は「ガバナー特別賞」受賞、富士見ロータリークラブとの友好クラブ関係(2008年～2009年)、(創立20周年記念事業)「障がい者テニススクール」は「2750地区特別広報賞」受賞、「四つの、多摩自慢」シンポジウム開催(創立25周年記念事業)等々の「特別事業」を実施して参りました。

なお、当クラブ2008～2009年度の「試行 ジョイント例会」実施は、「2750地区」を通じて「国際ロータリー規程審議会」に対して「定款改定」提案(*)される運びとなり、翌年度の「国際ロータリー2010年規程審議会」に上程された「標準ロータリー・クラブ定款第9条第3節(出席規程の免除)改定の立法案(制定案)」は、「第6条 会合」「第9条 出席」の条項も加味されたうえで大幅削除修正され、「採択」される結果となりました。「ロタフェロー認証制度」導入に伴い「クラブ細則改定」(2013～2014年)、「障がい者テニススクール」を開催、2003年から継続実施のこのプロジェクトは、残念ながらこの第14回目(2016～2017年)が最終回となる。また、「ロタキッド少年・少女合唱団」結成以来の恒例行事「特別養護老人ホーム“白楽荘”慰問コンサート」(2005～2018年)も継続が難しくなった。(2017～2018年度)「多摩をきれいに、多摩の美化集団と美しい風景写真展」を開催。(2017年～2018～2019年～2020年～2021年)多摩消防少年団支援プロジェクトを実施、薬物乱用防止活動実施、「ラオ・フレンズ小児病院」支援を実施した。

(*) 経過各年度活動の記録：2008～2009年度及び2009～2010年度に詳細を記載

クラブ創立時から2020年度迄のこの間に、「RI会長 意義ある業績賞」(1回)、「RI会長 対外広報“共同プロジェクト最高賞”」(1回)、「RI会長賞」(6回)、ガバナー特別賞(6回)、ガバナー

賞（多数回）、地区広報賞（2回）、地区ガバナーより「感謝盾」授受（1回）、モンゴル国科学教育大臣感謝状（1992年）ロータリー関連以外の団体（含、公的機関）からの「感謝状」授受（多数回）、米山奨学会寄付「1000万円達成感謝状」（1999年達成）・・・と、顕彰されるに至りました。

また、米山功労者は延べ30名、ポール・ハリス・フェローが延べ40名（15名マルチプル）、ベネファクターは延べ18名、ポール・ハリス・ソサエティ3名、ロータリー財団国際親善奨学生派遣4名受入、米山奨学生受入世話クラブ（受入12名）、青少年交換学生派遣10名、受入4名などの実績を重ねております。

＊クラブの活動事例の詳細は、「経過各年度における活動のあらまし」として以下に重複記載致します。

経過各年度における活動のあらまし

経過各年度活動の記録（クラブ活動計画書記載の過年度活動報告及び各種資料から抜粋）

1990年～1991年 会長 田中 實 幹事 宮本 誠 会員総数：33名（創立総会時）

【R.I会長テーマ】ロータリーを高めよ 思いを尽くし 熱意を尽くし

〔会長方針〕先ず親睦から始めよう

◆1990年9月5日「東京多摩グリーンロータリークラブ」創立総会（第5回仮例会・出席会員33名）

◆1990年10月26日「国際ロータリー加盟承認」（日本で1925番目）

◆1990年10月31日「第1回例会」（会員数33名）

◆1990年12月21日 チャーターナイト実行委員会設立

◆1991年1月9日 チャーターナイト実行委員会組織編成

◆1991年1月18日 チャーターナイトキャラバン隊活動開始

☆1991年3月25日 クラブ創立年度最重要事業である「認証状伝達式」を、

全会員の積極的参加・協力により未曾有の参加者数を得て成し遂げた

◆「チャーターナイト」報告書編纂

◇会員増強6名を得て会員総数が39名となる

◇交換留学生を推薦し合格

☆クリスマス例会時にチャリティーオークション、売り上げを多摩市福祉サービス公社に寄贈

☆「米山功労クラブ」となる

1991年～1992年 会長 田中 實 幹事 宮本 誠 会員総数：39名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】自分を越えた眼を

〔会長方針〕親睦と奉仕の流れを創ろう

★ガバナー特別賞「モンゴルの子供達への奉仕活動」（1991～1992）

◆ソロプチミスト多摩、多摩ニュータウンタイムズの共催を得て、

「モンゴルの子供達に文具を贈る」キャンペーンを実施：市民及び会員の寄贈により、エンピツ等6916本、ノート4678冊、その他文具683点、募金総額103,429円をモンゴル大使館に委託

★モンゴル国科学教育大臣 感謝状 (1992年9月)

☆「米山功労クラブ」となる

・会員増強6名、退会2名 (純増4名)

☆クリスマス例会時にチャリティーオークション 多摩市福祉サービス公社及び社会福祉協議会に
寄贈

◇1993～94学年度、ロータリー財団国際親善奨学生を推薦し、合格

◇前年合格の青少年交換学生を米国に派遣

・10月及び6月に親睦旅行実施 ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1992 年～ 1993 年 会長 赤尾恭雄 幹事 遠藤二郎 会員総数:43 名 (年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】まことの幸福は人助けから

〔会長方針〕《地域を見つめよう》 地域にロータリーの輪を

★「バランスのとれたクラブ業績」に対する「RI 会長賞」及び ★「ガバナー賞」を受賞

★ガバナー賞「身障者及び身体の不自由な老人の所在を示す目印を貼り緊急時の救出に備える運動」

☆1992年9月24日、2750地区初の女性会員 (森田舞子氏) 入会

☆3年連続「米山功労クラブ」として、400万円達成クラブとなる

◇会員増強10名 退会3名 (純増7名)

・通年出席率90%以上達成

☆クリスマス例会時にチャリティーオークション

・さくら祭り (多摩センター商店会主催) で、チャリティーバザーを実施

★災害時等各種救済募金を実施

・花見例会実施 (夫人同伴) ・親睦旅行 (諏訪湖方面)

・外部講師による卓話の実施など「卓話」の充実

・ロータリー情報委員会の充実 ・同好会活動 *野球、テニス、ゴルフ、写真

◇前年度に合格の「R財団国際親善奨学生」をシンガポールに派遣

◇国際青少年交換学生候補者2名合格

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1993 年～ 1994 年 会長 横倉舜三 幹事 北村幸彦 会員総数:50 名 (年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】行動に信念を 信念は行動に

〔会長方針〕例会でみんなが待っている、出会いを大切に

◆台北国際大会参加 (28 名)

★「ガバナー賞」を受賞・地域の人々を対象とした「新しい多摩を考える・シンポジウム」開催

◆三多摩の東京移管 100 周年記念事業一環「新しい多摩を考える・シンポジウム」主催
(10 月 25 日)

講師:野田 一夫 (多摩大学学長) パネラー:杉田かおる (女優)、吉田公二 (新都市センター開発)
幡谷紀夫 (写真家)、横倉舜三 (ニュータウンタイムズ)

◆「サインバイノウ」プラン(モンゴル国看護師 4 名を招き、「楽友会」で老人福祉の実際を経験する)

＊平成5年12月9日～翌年1月9日の一ヶ月間

☆感謝状「多摩・稲城交通少年団の育成」

・会員増強5名 退会3名(純増2名) ・通年出席率91.65%達成(5月末現在)

☆4年連続「米山功労クラブ」となる

☆バギオ基金協力クラブとなる

◇前年度合格の青少年交換留学生(2名)を米国に派遣

★多摩稲城交通安全協会の少年鼓笛隊に楽器を贈呈。多摩中央警察署長

☆交通安全協会長の感謝状授受

・「花いっぱい運動」実施 ・花見例会実施(夫人同伴)・親睦旅行(西伊豆方面)

◇Xmasチャリティ例会(モンゴル研修生招待)

☆各種災害 救済金・義援金/募金実施

★北海道南西沖地震 ★鹿児島県豪雨水害

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1994 年～1995 年 会長 宮本 誠 幹事 海野榮一 会員総数:52 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】友達になろう

〔会長方針〕新しい多摩を応援しよう

★「社会への思いやり」に対する RI 会長賞

◆「クラブ創立 5 周年記念式典・事業」実行準備委員会編成

☆米山功労クラブ」となる

＊京王プラザホテル多摩の新館増築(翌年竣工)に合わせて、「クラブ事務局及び例会場」の移転を「理事会承認」決議

◆「視覚障害者のゴルフチャレンジに協力(ブラインドゴルフ)

◆翌活動年度に迎える「クラブ創立 5 周年記念事業」実行準備委員会を編成し、「計画案」等作成に尽力

○予算案計上にあたり、「運営費(クラブ運営費 + 事務局運営費 + 予備費)」、「事業費」+「特別事業費」、に分け、支出対象項目別に予算額を計上するように改革

○東京多摩グリーンロータリークラブ「ニコニコ拠出金取扱規程」制定(1994 年 10 月 12 日)

○東京多摩グリーンロータリークラブ「細則」及び「慶弔規定」改定

○「例会様式」を作成 ・週報版型 B5 サイズを A4 サイズに変更(その他の書類も A 版サイズに統一)

○「日本標準商業分類」を参考に、地域性や時代性を考慮した職業分類表を作成する

●各種委員会活動の充実

○クラブフォーラム開催(2 回) ○「ロータリー豆知識」を毎例会配布

・新会員セミナー開催 ・通年出席率90%以上達成

☆会員増強 8 名、退会 4 名(純増 4 名)

◆「準・準キャンペーン」

会員総数 56 名の内、「ポールハリス準フェロー」41 名「準米山功労者」37 名 の他、「ポールハリスフェロー」1 名、「ベネファクター」1 名、「米山功労者」2 名、「米山ファンフェロー」3 名、達成

◇BIG な卓話 ・「森本雅樹氏」・「鈴木良男氏」・「田中誠一氏」・「川澄祐勝氏」

◆全会員参加により「多摩センター盆踊り大会」で「金魚すくい」を実施する（地域発展委員会）

★阪神淡路大震災への義援金募金 計 700,000 円を送金

★第 2750 地区環境保全基金募金 238,994 円

- ・親睦旅行（石和温泉ホテルうかい）
- ・お花見移動例会（1995年4月6日） 於 東京国際カントリークラブ
- ・納涼屋形船・野球・ゴルフ・ボーリング、各種同好会活動実施
- ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1995 年～ 1996 年 会長 萩生田茂夫 幹事 橋口洋三 会員総数:56 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】今こそ身を捧げて 真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

〔会長方針〕親睦と奉仕でクラブの和を深めよう

*「事務局」京王プラザホテル多摩 5F へ移転

◆国際ロータリー年次大会（カルガリー）参加 18 名

◆「クラブ創立 5 周年記念式典・事業」を実施

◆クラブ創立 5 周年「記念事業」 *多摩市民 1300 名参加

「明治大学マンドリンクラブチャリティー演奏会」1995 年 8 月 9 日、於：パルテノン多摩

★収益金全額（494,567 円）を多摩市社会福祉協議会へ寄付

◆クラブ創立 5 周年「記念式典」：1995 年 9 月 13 日（水） 於：パルテノン多摩

寄付：ロータリー財団 \$1000 米山記念奨学会 300,000 円 バギオ基金 100,000 円

◇多摩 RC・稲城 RC・多摩グリーン RC「3 クラブ合同例会」（1996 年 3 月 19 日）

☆「米山功労クラブ」となる

◇来日交換学生：メッテ・アルス・オールセン（デンマーク）来日&ホームステイ

◇会員増強 3 名 退会 3 名 ・新会員アドバイザー制度を引続き行う ・通年出席率 90% 以上達成

◇派遣交換学生 3 名を、ブラジル、アメリカ、タイにそれぞれ派遣

◆多摩消防署に「防災横断幕」を寄贈

◆「準・準キャンペーン」継続

☆5 年皆出席会員 ・今年度 100% 出席会員を表彰

◇BIG な卓話：「竹村照雄氏」（元広島高検検事長）、「藤田良雄氏」（日本学士院長）

「見城三枝子氏」（キャスター）

◇日の出町ゴミ処理場見学（31 名参加） ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1996 年～ 1997 年 会長 遠藤二郎 幹事 須藤起雄 会員総数:55 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】築け未来を 行動力と先見の眼で

〔会長方針〕奉仕の実践・・・行動する多摩グリーン・・・

＊「例会場」京王プラザホテル多摩4F（宴会場）に移転

★火災予防協力で表彰される（防災週間横断寄贈）

◇出席者数：IM（45名）地区大会（32名）アジア大会（4名）国際大会（9名）

☆「米山功労クラブ」となる

◆「準・準キャンペーン」継続

準米山功労者 30名・ポールハリス準フェロー 29名、

・出席率 84.30%～90.50%

○8月7日を第一回目として「絆工房」（赤尾職業奉仕委員長提唱）を実施（年度内22回開催）

○8月に市内・近隣の企業経営者など各界の代表的な方々に「例会への招待状」を発送した

招待状発送：59名 例会出席者：7名 入会者3名 という結果であった

☆職業功労者表彰を実施（多摩・稲城RCと共同企画）対象：多摩中央警察署管内駐在所警察官婦人

◇3クラブ合同例会実施（1997年5月28日）

○例会運営について改革を行った

・「卓話」の充実を図る

◇「新世代会議」を2回実施（米山奨学生、都立大留学生、多摩青年会議所、青少年交換学生 参加）

◇米山奨学生受入（ソン ミンヨンさん）

◇青少年交換留学生3名を、アメリカ、ブラジル、タイに派遣

◇GSE派遣メンバーを第7770地区に派遣

・「わんぱく相撲」協賛 ・障がい者「多摩スペシャル駅伝」協賛

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1997年～1998年 会長 吉沢洋景 幹事 村上 久 会員総数：57名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】ロータリーの心を Show Rotary Cares

【会長方針】多摩の礎となろう I serve の精神で

★国際ロータリー第2750地区ガバナーより「感謝盾」授受

◇ガバナー訪問例会を多摩RCと共同で行う

☆「米山功労クラブ」となる

☆上半期27名、下半期25名 それぞれ100%出席者を表彰

☆5年連続100%出席者3名を表彰

◆「準・準キャンペーン」継続

○「絆工房」を継続実施

イ）多摩ニュータウン開発、現状と問題点（横倉会員） ロ）行政改革に伴う不動産業の現状（大熊会員） ハ）行政改革による法務局の統合による問題（小城会員） ニ）規制緩和と企業の対応について（田中会員） ホ）金融業界の現状とビッグバンについて（山崎会員） ヘ）印刷・出版業界の現状について（海野会員） ト）行政の現状について（横倉会員）

○「会員増強」を目的として会員候補者に「例会出席招待状」を送付、

・第1回会員候補者戸別訪問（30件） ・第2回会員候補者戸別訪問（20件）

○新会員セミナー開催（2回）テーマ「出席・親睦・奉仕・増強」・新会員アドバイザー制度を継承する

・「ロータリーの友」を会員事業所、地域の中学校・高等学校の校長に寄贈し、ロータリー活動

への理解を深めるように努めた

- ・臨時行事として「東京湾アクアライン」バスツアーを実施
- ・障害者と健常者の「ふれあいコンサート」協賛・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1998 年～1999 年 会長 杉田 誠 幹事 佐伯和廣 会員総数:51 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】ロータリーの夢を追い続けよう

〔会長方針〕心と心の触れ合い「HEART TO HEART」

※国際ロータリー第 2750 地区ガバナー補佐に、田中 實パスト会長が就任

※クラブ定款抜本的大改訂(第 5 条会員身分 第 3 節～第 11 節 第 7 条出席の一部分 第 17 条改正の一部)

★RI 会長賞「ロータリーの夢を追い続けよう」

◆国際ロータリー第2750地区「グアム地区大会」(1999年4月7日～4月10日)、会員及び会員家族が多数参加

☆米山奨学会より 1000 万円達成クラブ表彰

◆「準・準キャンペーン」継続

○クラブ フォーラム開催 (9 月 16 日):

題 1、クラブ定款改定の主旨(分区幹事 宮本 誠)

題 2、地区リーダーシッププラン (DLP) 導入主旨(ガバナー補佐 田中 實)

○「職業分類一覧表」を総務庁発行「日本標準職業分類」に準ずる様、根本的に見直した

○「絆工房」を実施 ・新入会員に対するアドバイザーの推薦を行った

◇トルコより青少年交換学生(サイト・ファティ・アラギョス君)の受入実施

◇米山奨学生受入 ・ウダワッタ・カンカナンゲ・サナン・キールティ君(スリランカ)

・ゴ・カイ・ブン君(台湾)

◇稲城 RC と「合同花見例会」を開催

☆Xmas 例会に多摩中央警察署管内駐在所の家族招待、感謝状贈呈

・日産自動車東村山工場見学を実施

・日帰りバスツアー実施

・「環境ホルモン」について、「ごみ問題」を考える 等 環境保全をテーマとする卓話を行った

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

1999 年～2000 年 会長 海野榮一 幹事 大松誠二 会員総数:49 名(年度始名簿記載)

【R.I 会長テーマ】ロータリー 2000:活動は、堅実・信望・持続

〔会長方針〕1999～2000、そして新世紀

基本指針「2000 年:「外に向かって行動する東京多摩グリーンロータリークラブ」

◆RI や 2750 地区が設けている表彰制度への応募を行った

★プロジェクト名:「市民総合相談会実施とそれにかかわる広報活動」

★RI 会長 「意義ある業績賞」受賞、★国際ロータリー 2750 地区「ガバナー特別賞」受賞

★ロータリー2000、「RI会長広報賞」受賞、☆1999～2000年度地区広報賞「ガバナー特別賞」に含む

◆「クラブ創立 10 周年記念式典・事業」実行準備委員会編成

○ニコニコ拋出金取扱規程改正（2000年5月17日）（第2条3、4改正、第5条改正）

●「特別事業」実行委員会を編成

◇「クラブ創立10周年記念式典・事業」実行委員会（赤尾恭雄委員長）

◇「市民総合相談会」実行委員会（萩生田茂夫委員長）

◇「カンボジアプロジェクト支援募金」実行委員会（伊藤英也委員長）

★カンボジアプロジェクト支援「チャリティーゴルフ会」実行委員会（萩生田茂夫委員長）

◇「青少年交換プログラム説明会」（高野範城委員長）

●以下に、「特別事業」の実施成果を提示

◆多摩市主催「いきいき多摩」会場で、特別事業である「市民総合相談会」を全会員参加で開催した

◆「国際フェスタ多摩2000」に「カンボジア地雷被害者」の写真、義肢（義足・義手など）を展示して、地域社会に「募金」を呼びかけ、また「多摩グリーンロータリークラブ」の活動を知ってもらった

★「カンボジアプロジェクト支援」のチャリティーゴルフ会を実施、またクラブ内でも募金活動を行う

◆若い世代を応援する「ロータリーの奨学制度説明会」（参加者50余名）を開催して応募者を募った

*ロータリー財団国際親善奨学生（3名応募、1名合格） ◇青少年交換留学生（10名応募、2名合格）

☆米山功労クラブとなる（11回目 累計¥11,129,820）

◆「準・準キャンペーン」継続

◇「毎月1回 親睦行事」を、家族も参加できるプログラムとして実施

7月 歩こう会 多摩センター～多摩テック 8月 関戸花火大会 9月 ボウリング大会

10月 移動例会（石和温泉） 11月 歩こう会 多摩中央公園～小野路 12月 Xmas 例会

1月 新春「寿例会」 2月 多摩・稲城・多摩グリーン「3クラブ合同例会」

3月 山下晴風氏による薩摩琵琶鑑賞会 4月 花見例会（東京国際 C.C） 5月 ボウリング大会

◇BIG な卓話、放送作家の山田太一氏やカンボジア地雷被害者救援 NGO 代表を招き、会員家族や、近隣ロータリアンも参加した特別卓話例会（卓話時間を延長）を開催

◆「ロータリークラブ」を地域社会に広報する目的で「ロータリー広報」を創刊、また「ロータリーだより」を多摩ニュータウンタイムズ紙に毎月掲載し、地域メディア（FM 多摩・駅構内にポスター掲示、折込チラシ等）も活用して、積極的に「広報活動」を行い、これらの実績を纏めて「RI 広報賞」に応募

◇エコプラザ多摩（多摩市立資源センター）に就労予定のメンバー（20名）を Xmas 例会に招待

◇交換留学生を受け入れ、米山奨学生の世話クラブとして3名受け入れ

★トルコのロータリークラブを通じて「トルコ地震被害者」に「義援金」を送金

★台湾地震被害者に地区を通じて義援金拋出 ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2000年～2001年 会長 津守弘範 幹事 伊澤ケイ子 会員総数:46名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】意識を喚起し・・・進んで行動を

〔会長方針〕心のふれあいを求め 和の中から行動を

◆「クラブ創立10周年記念式典・事業」を実施

・「記念講演」「エジプト文明から見た地球環境」講師：吉村作治氏（早稲田大学教授（工学博士））
（早稲田大学エジプト学研究所所長）

- ・「記念事業」(財)米山記念奨学会、ロータリー財団、バギオ基金、
「カンボジアプロジェクト」(HOPE 希の会代表)、多摩市へ福祉目的に寄付金贈呈
- ☆10周年連続皆出席者：赤尾恭雄、小城章員、宮本 誠、大熊将夫、田中 実、海野榮一(6名)

- ◆2000年11月3日～5日の3日間「市民総合相談会(2回目)」継続実施
- ◆「カンボジアプロジェクト」を前年度から引き継ぎ継続実施
- ★「カンボジア支援募金」を継続、更に「10周年記念式典会場」内に、「カンボジア地雷被害の写真・地雷・義肢等」の展示コーナーを設けて募金活動を行い「希の会・HOPE」に寄付
- ◆小学校高学年生、中学生の作文集「思っていること、言いたいこと」を作成、多摩市内の各学校・教育委員会・市役所などに配布
- ◆ユネスコ「世界寺子屋運動に役立つ活動」に参加(書き損じハガキ、未使用テレホンカード等)寄贈
- ◆2000年度青少年交換学生(前年度合格者2名)をオーストラリア、フィンランドに派遣
- ◆ロータリー財団国際親善奨学生1名を派遣(フランス)

☆「米山功労クラブ」として表彰を受ける(12回目)

○クラブフォーラムを開催(全員参加) テーマ:23・24決議について、資料:冊子「ロータリー通解」

○新会員セミナー開催 テーマ「ロータリークラブの構成と諸目的」～ロータリアンのなすべきこと～

◆「準・準キャンペーン」継続

◇ロータリー財団国際親善奨学生を受入れ ◇米山奨学生2名を受入れ

☆会員有志の好意により「コンピューター」導入、週報編集・印刷を自クラブで完結できるようにした

★三宅島災害募金 ★鳥取地震災害募金

- ・ときめきイブニングパーティー協賛金 ・障がい者作品展協賛金
- ・グループホーム多摩叢(タマムラ)協賛金 ・社会福祉協議会チャリティーゴルフ協賛金
- ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2001年～2002年 会長 足立潤三郎 幹事 加藤喜三郎 会員総数:43名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】人類が私たちの仕事

〔会長方針〕友愛の精神で結びつきを大切にしよう

基本指針 「増強と活力、飛躍と理解、友情と感動」

※2001年度 RI 規程審議会による「標準クラブ定款」の改定に関して、「卓話」「クラブ協議会」を行う

○定款変更に伴い、「クラブ細則」の改正を行う

★ガバナー賞受賞 特別事業「高齢期をいかに楽しく生きるか」

◆「ガバナー公式訪問3クラブ合同例会」加来浩三ガバナー卓話「変革期に何を求められているか」

◆みんなが、元気で長生きできるよう「高齢期をいかに楽しく生きるか」をテーマに特別事業を企画
2001 年 10 月 10 日、パルテノン多摩小ホール（収容 300 人）において実施

* 基調講演「生涯現役、長生きの秘訣」（首都大学東京 星 旦二 大学院教授）

* 地域内にあるサークルで活動中の高齢者による「サークルの紹介や案内」、「活動の実際」を発表
＜実演団体＞

・総合舞踊 ・男性ボランティア会議 ・ELC（英会話） ・多摩太極拳 ・英語劇団

・新舞踊の会・日本美術教育文化センター ・多摩市要約筆記サークル 等々、合計 20 を超える「団体・サークル」が参加

*** 次々と「実演希望サークル」が登壇する等、賑やかで楽しいイベントになりました***

○多摩ニュータウンタイムズ紙に「ロータリークラブだより」を毎月出稿・掲載して、「高齢期をいかに生きるか」などへの「参加呼びかけ」、その他の「クラブ行事報告」、「青少年交換留学生」や「ロータリー財団派遣奨学生」の応募者告知など、クラブの活動を多摩市民に伝えることが出来た

☆「米山功労クラブ」として表彰を受ける（13 回目）

★ロータリー財団への寄付目標額 \$5000 に対し \$5100 達成

☆2001 年 9 月 26 日例会において「例会出席率 100%」を達成した・通年出席率 85% 以上を維持

○最終例会を「Welcome 例会」とし、オブザーバーの参加を容易にした（入会者も現れ、成果を得た）

○クラブフォーラムを必要に応じて開催した

○新会員に対する「アドバイザー制度」を実施

◆「準・準キャンペーン」継続

・2001 年 11 月 7 日、「R 財団について」の卓話 地区 R 財団委員長 新藤信之氏

・2002 年 5 月 15 日、「R 財団ビデオと卓話」 地区 R 財団情報推進委員 赤尾恭雄氏

◇R 財団国際親善奨学生の選考面接を行った

◇2001 年 8 月「2000 年度青少年交換留学生」フィンランドへ出発

◇2002 年 4 月「2000 年度青少年交換留学生」オーストラリアより帰国

★アフガニスタンへ「救済金」送付

・親睦旅行（伊豆方面 ホテルおくゆもと） ・花見例会（家族参加）

☆Xmas 例会に、多摩中央警察署管内駐在所のご家族を招待し、記念品を贈る。

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2002 年～2003 年 会長 小坂一郎 幹事 平野行廣 会員総数:42 名（年度始時名簿記載）

【R.I 会長テーマ】慈愛の種を播きましよう

〔会長方針〕「和楽」和は仲良くする事、楽は楽しくある事

◆2003 年 3 月 20 日開催「ボランティアって、なに？」—慈愛の種を蒔きましよう—、於パルテノン多摩

後援：多摩市教育委員会 多摩市社会福祉協議会 多摩市障害者福祉協会 多摩青年会議所

第1部「フォーラム」 パネラー 国境なき医師団 寺田会長

パラリンピック水泳代表 成田真由美さん 他

第2部「癒しの音楽」

ピアノ演奏とお話し：音楽療法士 中井深雪さん

◆東京稲城ロータリークラブ 30 周年記念式典

◇2003 年 3 月 20 日、3 クラブ合同例会「ガバナー公式訪問」(担当クラブ)

◇3 クラブ合同寿例会 (担当クラブ)

○5 月 クラブフォーラム開催「ロータリーの変遷」

◆「準・準キャンペーン」継続

・出席率向上を促し、他クラブでのメイクアップを呼びかけた

☆2002 年 12 月 25 日例会、100% 出席達成

○親睦活動委員会が担当するプログラムを「全会員参加」と「任意参加」とに分け、更に、通常例会時（常時）、特別例会時（随時）、合同例会時（随時）、特別事業時（随時）と分類

・手作りプランによる「花見親睦旅行」 Xmas例会（家族・お客様 参加）

・多摩川関戸花火大会見物を実施（任意参加）

・「第12回多摩市障害者美術作品展」に協賛金寄付

・「第52回 社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2003 年～2004 年 会長 大松誠二 幹事 藤本吉文 会員総数:43 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】手を貸そう

〔会長方針〕「会員は一生の仲間、そして強く握ろう！」

手を貸そう・・・きっと誰かが待っている、差し伸べる私たちの手を

★RI 会長賞、 ★ガバナー賞、 ★ロータリー財団賞

◆国際ロータリー 2004 年国際大会 OSAKA2004 年 5 月 26 日～大阪ドーム・国際会議場 参加者 20 名

◆東京多摩ロータリークラブ創立 35 周年記念行事(2004 年 6 月 20 日 パルテノン多摩大ホール)

◇3 クラブ合同例会を実施した

●特別事業「地域に手を貸そう」:

◇特別養護老人ホーム「白楽荘」に、ロータリアン並びに「多摩みゆき幼稚園児」が訪問し、白楽荘入所者と園児との「歌」や「手遊び」による交流を行った ロータリアンは施設見学、体験昼食会を行い、地域福祉への「理解と協力」実現への足掛かりとなった

(★後日、「車いす」1 台と当日の「交流風景の写真パネル」2 枚を「白楽荘」に寄贈した)

・03年7月20日「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

・11月多摩市清掃デー「乞田川をきれいに」に参加

・11月知的障害者通所訓練施設「多摩市育成会AROMA」に看板を寄贈した

・12月「第13回多摩市障害者美術作品展」に協賛金を寄付した ・Xmas例会

- ・04年3月「多摩市社会福祉協議会法人化30周年記念「福祉バザー」」に出品協力した
- ・「多摩よこやまの道」ハイキング実施（家族参加例会） ・花見移動例会実施
- ・4月喫煙マナーアップキャンペーンに参加した（主催：オール東京市町村共同事業実行本部）
- ・5月「第13回多摩市社会福祉協議会チャリティーゴルフ大会」の協賛金を寄付した

☆米山記念奨学会、会員の83%（35名）から特別寄付が寄せられた

◆「車椅子テニススクール」実施（車椅子・義足使用の方）

*この特別事業は次年度以降恒例行事となる

●「卓話の充実」

1. 行政関係者：多摩市長、多摩中央警察署長、多摩消防署長、法務局多摩出張所長、南多摩保険所長
2. 社会の流れに対応：
 - ・NHK大河ドラマ「新選組」（小島資料館館長×2回）
 - ・「自衛隊のイラク派遣」に先駆け（朝日新聞論説主幹 若宮 啓文氏）
 - ・「鳥インフルエンザ」（南多摩保険所長）
 - ・健康（ウォーキング）（東京学芸大学教授） 等々

3. ロータリー理解、ロータリー特別月間 等々に因んで：関連委員長による卓話

★アルジェリア北部地震災害派遣隊員・地区青少年交換来日学生 等々

2004年～2005年 会長 菊池 敏 幹事 田島真由美 会員総数:42名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】ロータリーを祝おう—100年の歩み—

〔会長方針〕理想は広く大きく・・・ 行動は地道にしっかりと

◆「クラブ創立15周年記念式典・事業」実行準備委員会編成

◆“よこやまの道”記念石碑（揮毫：横倉舜三パスト会長）を一本杉公園内に建立・寄贈

「万葉集」巻20・4417 ～赤駒を山野に放し捕りかにて 多摩の横山徒歩ゆか遣らむ～

◆「障がい者のためのテニス教室」を継続実施

◇中学校の職場体験を、会員企業10数社で実施

◇東京多摩東グループプロジェクト「薬物乱用防止啓蒙用ポスターと下敷き」を市内「中学校」に配布

- ・ポスター配布 各校2枚（12校中の2校） ・下敷き配付 全生徒数3923名
- （当クラブ担当配布校 聖ヶ丘中、鶴牧中、永山中、落合中、大妻女子大付属中）
- ・地区「オリエンテーション」に新人会員を伴い参加

★新潟県中越地震に義援金を送付

★インドネシア・スマトラ沖地震に義援金送付

- ・富士五湖めぐり「花見移動例会」、 ・ベゴニア園でお花見、 ・昇仙峡で美術館を訪ねた
- ・「移動例会」バーベキューを多摩テック内で行った
- ・お楽しみ企画「カクテル実演」を京王プラザホテルバーテンダーを招いて行った
- ・「多摩市社会福祉協議会チャリティーゴルフ大会」協賛 ・多摩市環境浄化運動に参加
- ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加 ・多摩市マナーアップキャンペーンに参加

2005 年～ 2006 年 会長 北村幸彦 幹事 篠崎一雄 会員総数:42 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】超我の奉仕

〔会長方針〕ロータリー第 2 世紀の第 1 章を書こう

★ガバナー特別賞受賞 多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」設立・支援

◆「クラブ創立 15 周年記念式典・事業」を実施

・「記念式典」(2005 年 9 月 1 日、パルテノン多摩小ホール、祝宴、京王プラザホテル多摩)

・「記念事業」ロータリー財団、(財)米山記念奨学会、多摩市社会福祉協議会、各々に寄付金贈呈

・多摩グリーン ロタキッド・クラブ「心の詩 少年・少女合唱団」結成発会(団員数12名)

☆多摩グリーン ロタキッド・クラブ「心の詩 少年・少女合唱団」

・2005年末「アフガニスタンの子供達に車いすを贈るチャリティーコンサート」に参加(東京芸術劇場)

・2006年4月、「アミュー立川」コンサート出演(団員15名に増加)

・2006年6月、「東京芸術劇場」大ホールの演奏会に出演

◇3Rクラブ合同例会(多摩、稲城、多摩グリーン) ・花見例会

◇3ロータリークラブ合同チャリティーゴルフ大会に参加

◆「親睦移動例会」:

◇クラブ創立15周年の打上げを兼ね、一泊二日の「愛・地球博」バス旅行(家族参加)

◆「障がい者テニススクール」を継続実施

・Xmas例会(結成したばかりの、ロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」)も参加

◇多摩市「捨て看板」撤去作業(地域浄化運動)

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加 ・マナーアップキャンペーン参加

2006 年～ 2007 年 会長 関岡俊二 幹事 萩生田政由 会員総数:40 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】率先しよう

〔会長方針〕「家和万事成」「利他の心」で親睦と奉仕に自ら率先しよう

※2006 年 10 月、次年度からの「CLP 導入」の是非を問う「クラブ協議会」、「細則変更」、「会員総会」を次年度と協働して開催し、「CLP 詳細検討及びクラブ細則改正委員会」についての「諮問委員会答申」を経て、翌、2008 年 2 月発足の「被選理事会(次年度理事会)」に託す

*CLP:クラブ・リーダーシップ・プランの略(「地区」のDLPに対応する)

◆ロータリー及び東京多摩グリーンロータリークラブの存在や活動を紹介する「広報用リーフレット」を作成・配布した

◆市民の防犯意識向上と犯罪防止警告を目的とする「防犯パトロール」を実施し、その際の画像などを「多摩テレビ」で報道され、またニュースとして「地域紙」に掲載された

◆障がい者テニススクールを開催(4回目)、尚、この回からは近隣の「落合中学校」一学年生徒

106名が3班に分かれ、ボランティア体験の「課外授業」として参加

◆2007年3月、「多摩グリーン ロタキッド・クラブ合唱団」が特別養護老人ホーム「白楽荘」に出むき、慰問コンサートを行った

また、合唱団単独では「多摩市合唱祭」・パルテノン多摩小ホールでの Xmas コンサートに出演し、更に、共演では「東京芸術劇場」、「新宿文化センター大ホール」、「立川 SD 協会」における演奏会にそれぞれ出演した

◇多摩市立中学校生徒の職場体験に会員事業所が協力

◇米山奨学生 キム・キョンミンさん（多摩美術大学 博士課程）の世話クラブとなる

○会員の親睦を図り、且つ出席率向上を目指し、趣向を凝らした「移動例会」を実施した

- ・納涼夜例会（ハワイアンとフラダンス） ・ホテルで朝食会（朝例会）
- ・座禅会例会（高西寺にて座禅体験） ・Xmas例会 ・新年寿例会 ・夜例会
- ・親睦旅行（秩父・甲州路に花とワインの香りを訪ねる）等

- ・「社会を明るくする運動」パレード参加

2007 年～ 2008 年 会長 村上 久 幹事 海野榮一 会員総数:32 名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】ロータリーは分かちあいの心

〔会長方針〕協調と思いやりーそして分かちあいの心を

※国際ロータリー第2750地区ガバナー補佐に、赤尾 恭雄パスト会長が就任

※「2007～2008年度被選理事会」では、前年度から託された案件「CLP導入に伴うクラブ組織の变革」を実現するため、「前年度理事会」と協働して「クラブ協議会」「会員総会」を数度にわたり開催して「クラブ細則改定」（2007年2月7日総会決議、5月9日総会決議、6月6日総会決議）を実行した

○2007年2月27日「クラブ体制あり方検討諮問委員会」吉沢洋景委員長から「答申書」が提出される（クラブ会計「逼迫事態」への対策に関して、適切な対処策を提起されました）

※今年度よりCLP導入の主旨（クラブ・リーダーシップ・プラン：主体性のあるクラブ活性化と組織変革を積極的に推し進める）に添って、クラブ委員会組織が「クラブ運営管理委員会」と「奉仕プロジェクト関連委員会」の2系統に分類され、クラブ運営管理関連の各委員会ではそれぞれの分掌業務を確認し、他委員会との協調にも留意してそれぞれの「任」に臨まれました

「奉仕プロジェクト関連委員会」は、ロータリーの四大奉仕、◇社会奉仕、◇職業奉仕、◇国際奉仕、◇新世代奉仕、に立脚してRI及び地区との連携を保ってクラブ内啓蒙を図ると共に、クラブ内の「奉仕プロジェクト立案」に際しては、その立場から骨格の設計にあたります

※2007年7月1日改正の「ロータリークラブ定款変更の内容解説」を実施

○多摩グリーン ロタキッド・クラブ「心の詩 少年少女合唱団」が組織として自立

★RI会長賞受賞 対外広報「共同プロジェクト最高賞」「私はこう考える 安心・安全な街づくり」

- ★ガバナー特別賞受賞 講演会 広報活動「私はこう考える 安心・安全な街づくり」
- ★ガバナー賞（国際ロータリー第2750地区）「地区広報賞」
- ★ガバナー賞「会員増強」 21.875%増（32名 → 7名増の39名）
- ★ガバナー特別賞「CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）導入とそれに伴うクラブ組織の変革実施」

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

◆講演会「私はこう考える 安心・安全な街づくり」実施

○講演会（2007年10月31日）終了後、市民の「安心・安全な街づくり」意識の向上を喚起することを目的として、講演の内容を「多摩テレビ」で番組放映、「FM多摩」で放送、たま広報・地域紙で告知し、また冊子「講演内容レポート」を配布して「市民全般」に呼びかける啓蒙、広報活動を実施

講演Ⅰ 多摩市 市長 渡辺 幸子氏

講演Ⅱ-1 多摩中央警察署 署長 加藤 伸夫氏

講演Ⅱ-2 多摩中央警察署 警備課長 有間 邦夫氏

講演Ⅲ 多摩消防署 署長 大江 利一氏

◆「障がい者テニススクール」継続実施*課外授業として中学生100余名がボランティアとして参加する

◆「ロタキッド合唱団」育成実施

・特養老人ホーム「白楽荘」での慰問コンサートを継続実施

●クラブ運営管理関連委員会の活動

○「CLP導入とそれに伴うクラブ組織変革の実施」

◇当年度活動計画に掲げた「地域に開放できる例会」は、「私はこう考える 多摩市 安心・安全な街づくり」講演会として実施され、大きな成果が得られた

◇「ロータリー」への市民の理解が得られるよう、レジュメ「Rotaryとは」を発行し、配布した

◇2680地区 田中 毅バスターガバナーの講演内容「二つの奉仕理念」を全会員に配布

○テーブルレイアウトなど、例会形式を刷新した

・例会は、「納涼七夕例会」「Xmas例会」「新年寿例会」「親睦移動例会」「最終例会」などの親睦的例会を実施する他、ロータリアン以外の方にも参加を呼び掛ける例会を行った

☆米山奨学生 キム・キョンミンさん（世話クラブ 東京多摩グリーンRC）の作品「大地の機運」が「二科展」彫刻部門の最優秀作として「二科賞」に輝く

・Xmasコンサートを共催 ・多摩市合唱祭出演を支援 ・下記合唱合宿実施に協力する

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加 ・マナーアップキャンペーンに参加

2008年～2009年 会長 伊澤ケイ子 幹事 小田良生 会員総数:36名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】夢をかたちに

〔会長方針〕人の和・縁を大切に「なかま」との楽しい触れ合いを

◆国際ロータリー第2750地区「グアム地区大会」（2009年2月18日-20日）

※当クラブの、試行「ジョイント例会」実施提案に、「国際ロータリー第2750地区」にとっても初の試みである「標準ロータリークラブ定款」第9条第3節（出席規程の免除）を改定する立法案（制定案）が2007～2008年度地区大会で決議されて「国際ロータリー」に申請された事案につき、2008～2009年度、RIが受理し、次年度開催の規程審議会に上程されることになりました（*2009年6月末日付 過年度活動報告に記載）

●クラブ運営管理関連委員会の活動

○試行「ジョイント例会」（月に1回のジョイント例会を施行した 外部に若干の異論が見られたが、卓話をはじめとして充実した例会を実施することが出来た）

*ジョイント例会（併合例会）：例会日及び例会時間は、「毎週1回・1回1時間」を要するとされているが、試行「ジョイント例会」では「1日に2例会分の時間を与えて開催、つまり1回1時間の例会をジョイントして、1回の例会を2時間にすることで例会充実を図り、前後の何れかの週の例会を、休会扱いとする」という試みです（*二度の例会を一度にして実施するわけなので、最低でも2倍になる卓話時間・その他を充実させてこそ意味があります）

*この試みは「標準ロータリークラブ定款」の解釈上で疑義をもたらす懸念があるため、2750地区として「国際ロータリー 2010年規程審議会」に「定款改定」提案がなされることを前提に、規程審議会提案のための実験的試行として実施する

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

・多摩市の姉妹都市である長野県富士見町の「富士見ロータリークラブ」と友好関係になることを視野に入れて関係を築くことで、両クラブが合意

◇国際ロータリー第2600地区「富士見ロータリークラブ」（長野県）と「友好クラブ」関係推進

・2008年10月30日、東京多摩グリーンRCの役員・理事が富士見RCのもみじ例会に参加
・2009年6月24日、東京多摩グリーンロータリークラブ最終例会に富士見RC会員多数の来訪を受ける

◆2008年11月29日、通算第6回目となる「障がい者テニススクール」を実施

・過年度同様、落合中学生約70名がボランティア課外教育実習として参加

◆「ロタキッド少年少女合唱団」の、特養老人ホーム「白楽荘」慰問を支援

◆「クラブホームページ作成委員会」（アドホック委員会）により「ホームページ」を立ち上げることが出来た 成否は、今後の改良、維持及び活用にかかっている

◆プロジェクト「なかまを増やそう」キャンペーンにより、5名の増強を達成した。なお、「仲間を増やそう」キャンペーンの告知は、立ち上げたばかりの自クラブ「ホームページ」でも行った
・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

◆準・準キャンペーン継続実施

「R財団」ポール ハリス・フェロー1名（マルチ）、 準フェロー（100\$寄付者）21名

「米山記念奨学会」米山功労者 2名（マルチ）、 準功労者（1万円以上寄付者）17名

●「卓話」当初計画に従い、会員の融和、親睦、倫理的資質向上に寄与する卓話を実施

8月20日：会員の資質（赤尾地区委員長） 9月3日：「ロータリーとは」秋山パストガバナー

9月17日：「裁判員制度」鹿島弁護士 10月15日：「知的財産権」松田弁護士

11月12日：「警視庁犯罪白書」多摩中央警察署長 11月17日：「産業予防医学」武藤医学博士

12月3日：「職業倫理」赤尾地区委員長 12月14日「青少年育成」多摩市教育委員長
4月15日：「企業における人権問題」東京都人権啓発センター講師
6月3日：「植物群落の移り変わり」：「日野の自然を守る会」元会長

2009年～2010年 会長 伊藤英也 幹事 宮本 誠 会員総数:36名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】ロータリーの未来はあなたの手の中に

〔会長方針〕友情そして交流の輪を深め 人生を高めよう

◆「クラブ創立20周年記念式典・事業」実行準備委員会編成

※前年度、「当クラブ」が提案し「国際ロータリー第2750地区」提案として、今年度の規程審議会に上程された、標準ロータリー・クラブ定款第9条第3節（出席規程の免除）改定の立法案（制定案）については、大幅削除修正されて「採択」される結果となりました

参考 <<標準ロータリー・クラブ定款>>(抜粋)

第6条 会合 第1節 例会 (a) (b) (c)、及び

第9条 出席 第1節

一般規程 (a) 例会の前後14日間。例会の定例の時の前14日または 後14日以内に…以下略…

(5) 理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席する事

(6) 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席する事

第3節 出席規程の免除 次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする

(a) 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。理事会は正当な十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。このような出席規定の適用の免除は、最長12か月間までとする。

…以上は、2011年7月制定…

ただし、健康上の理由から12ヶ月間を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12カ月の後に、さらに一定期間の欠席を認めることが出来る。

…2013年7月制定…

※昨年度の例会運営（ジョイント例会）の発展形として、「親睦炉辺例会」と「＋ミーティング例会」の組み合わせによる、特異な「例会運営」を試みました。すなわち、「親睦炉辺例会」の様々な企画により「友情と交流の輪を深め」、「＋ミーティング例会（通常の2倍の卓話時間＝60分にする例会）」は、年間を通した「テーマ」に沿った「充実した内容の卓話」で「人生を高めること」に貢献出来ます 「クラブ運営」としては、新年度に備えた各委員会の方針決定について、委員会相互の枠を超えた「連携」を図るため、4回のクラブ運営管理連絡会議を開催して討議を行いました

●クラブ運営管理関連委員会の活動

☆以下の委員会の内、9委員会が常設委員会、1委員会が特命委員会で、併せて9～10の委員会がCLP導入後の「クラブ運営管理関連委員会」を構成します

1) プログラム委員会 + 2) SAA・親睦委員会

- +ミーティング例会の年間テーマを「地球環境問題」として、それぞれ切り口が異なる卓話を実施、「親睦炉辺例会」及びその他の「親睦例会」も、両委員会が連携して斬新な企画を試みました

・ 8月11日「関戸花火」順延、京王プラザホテル“ページ1”で例会

・ 9月9日 親睦炉辺例会「屋形船」

* 9月16日 +ミーティング例会

「地球の半生を擬人的に振り返ると人類と環境が見えてくる」(首都大学東京 河村 明 大学院教授)

・ 11月11日 親睦炉辺例会の予定を「障がい者テニススクール」に振替

・ 12月16日 Xmas例会は孫まで杵を広げて開催

・ 1月13日 「親睦炉辺例会」として吉沢会員夫妻指導による「ボウリング大会」を開催

* 1月20日 +ミーティング例会「南極から地球を考える」(山梨大学 竹内 智 大学院教授)

“南極の氷”をご持参いただきました

・ 2月10日 親睦炉辺例会 関岡会員の指導で「高西寺 座禅会」

・ +ミーティング例会は特別事業「救急救命講習」に振替

・ 親睦炉辺例会「どぜうを食って落語を聴こう」(駒形どぜうと浅草演芸ホールで江戸下町文化に親しむ)

* 3月24日 +ミーティング例会「小欲の知恵・・・環境問題への仏教的視点」(中野 東禅先生)

・ 4月14日 親睦炉辺例会「親睦旅行」

* 4月21日 +ミーティング例会「親睦旅行1日目と2日目」を「白川郷と高遠桜」の花見に振替

3) 出席奨励委員会：今年度100%出席会員11名、100%出席継続会員：創立以来20年3名、18年1名

4) 会員増強委員会：6名増強4名退会

5) 会報記録委員会：会報用紙、事務局プリントにより予算削減

6) 広報・雑誌委員会：「ロータリーの友」記事掲載、「障がい者テニススクール」、「ポリオ撲滅チャリティーゴルフ」の広報パネルを地区大会で展示

7) ロータリー研修委員会：ロータリー用語集を作成

8) 募金活動委員会：R財団ポールハリスフェロー4名(マルチ)、ベネファクター1名、\$100寄付者24名、米山奨学会米山功労者2名、1万円以上寄付者17名

9) ロタキッド委員会：特養老人ホーム「白楽荘慰問コンサート」主催

10) 「IT特命委員会」：HPの年度更新と改良を実施

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

全会員参加のプロジェクト企画会議において提案されたプロジェクト案の内、4つのプロジェクト案が理事会承認され、立案委員会で検討・実施された他、年度途中で新たに3プロジェクトを追加・実施

1) 創立20周年記念式典・事業 準備プロジェクト

2) 障がい者テニススクールプロジェクト

3) ロタキッドクラブ支援を継続し「白楽荘」慰問を行うプロジェクト

- 4) 救急救命の講習会を実施して、全会員が認定証を取得するプロジェクト
- 5) 全会員で子ども110番を引き受けるプロジェクト
- 6) ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会の実施プロジェクト
- 7) プロアマチャリティーゴルフのホストクラブを務めるプロジェクト

◇富士見ロータリークラブとの親交を推進

- ・「社会を明るくする運動」啓発パレード参加

◇防犯パトロールは継続実施 ・マナーアップキャンペーン参加

2010年～2011年 会長 宮村 宏 幹事 菊池 敏 会員総数:36名(年度始時名簿記載)

【R.I 会長テーマ】地域育み、大陸をつなぐ

〔会長方針〕地域の力となり、その輪を広げよう

★第2750地区「特別広報賞」受賞

◆クラブ創立20周年記念事業

- ・2010年9月24日、国枝慎吾・齋田悟司 両選手を招聘して「障がい者テニススクール」を実施、好天に恵まれ「車いす」使用の「児童3名、5～10歳」も参加して “和気あいあい”に行われました。

*当日の様子を収録した“DVD”を制作&配布し、式典会場でも映写致しました。

◆東京多摩グリーンロータリークラブ「創立20周年記念式典」(2010年10月23日於パルテノン多摩)

式典プログラム (第943回例会) 進行&講師紹介 会長 宮村 宏

- ・基調講演：テーマ「障がい者テニス」

- ・活動経過報告DVD映写「障がい者テニススクール」(9月24日収録動画)

・トークセッション アシスト プロテニスプレーヤー 宮村 美紀

北京パラリンピック 金メダリスト 国枝 慎吾 選手

アテネパラリンピック 金メダリスト 齋田 悟司 選手

(財)吉田記念テニス研修センター理事長 吉田 宗弘 様

◆多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩・少年少女合唱団」(15周年記念事業)の成長報告

- ・活動経過報告DVD映写「多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩少年少女合唱団」練習風景収録動画

・コンサート 指揮 鈴木 直人 ピアノ 越前 佳織

◆寄付金贈呈 *ロータリー財団 *ポリオ撲滅運動 *米山記念奨学会*多摩市社会福祉協議会

(*国際ロータリー第2600地区 富士見ロータリークラブの皆さんもご出席いただきました)

●クラブ運営管理関連委員会の活動

当年度から、被選期間中のクラブ運営管理連絡会議の開催に予算措置もなされて、関連委員会間の活発な討議を行うことが出来た

- 1) プログラム委員会 まず正月の、開運画家加藤氏による七福神絵画の制作パフォーマンスに始まり、地域在住の知名人による、多摩の今昔、古道散策、大國魂神社縁起、後裔親族による「小田原北条と狭山北条」の卓話、で地域の理解と歴史を学んだ 多摩市長、多摩中央警察署長、多摩消防署長による卓話、座禅会等を実施
- 2) SAA・親睦委員会 東日本大震災があり親睦旅行は中止を余儀なくされた ・「よこやまの道」桜散（案内役：古道研究家 宮田太郎氏） ・座禅会（高西寺）等もプログラム委員会と連絡を密にして実施した
- 3) 出席委員会 ・通年出席率85%以上を目指したが遠く及ばなかった 出席率を向上させる各種の工夫も必要ではあるが、根本は各会員の真摯な姿勢と熱意にあると考える
- 4) 会員増強委員会 ・2名入会するも4名退会という結果となった
- 5) 会報・記録委員会 ・HP開設以来、会報はクラブ内に留まらずに広く公開されているので、内容・文章には細心の注意が求められる
- 6) 広報委員会 20周年記念事業関連広報と連係して、各種メディアを通じて広報活動を行った 周年記念事業のDVDを制作し「ロータリーの友」に掲載されたところ、各地のRCより反響があり、頒布希望に応じている、このことにより、地区「特別広報賞」を受賞した
- 7) ロータリー研修委員会 新会員セミナーを実施して「ロータリーの基本」について伝え、率直な意見交換ができた
- 8) 募金活動委員会 ニュージーランド地震災害に引続き、東日本大地震津波原発事故災害の大災害に対応して募金活動を行った
- 9) ロタキッド委員会 20周年記念式典では面目躍如足るものがあり、特集DVDを配布し、地区内ロータリアンに広く知られるところとなった、「白楽荘」慰問コンサート、年末定期コンサートを行った
- 10) 「IT特命委員会」、稼働3年目の委員会、20周年記念事業を動画としてHPにアップロードした 今後、各種トピックスを気軽にUP出来るようにしたい

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1. 障がい者テニススクールプロジェクト
2. ロタキッドクラブ支援を継続し、「白楽荘」慰問プロジェクト
3. 青少年交換留学生受け入れプロジェクト
4. 子供と高齢者の安全・安心な街プロジェクト
5. 多摩市の環境整備プロジェクト
6. 富士見ロータリークラブとの交流プロジェクト
・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加 ・マナーアップキャンペーンに参加

2011年～2012年 会長 小泉 博 幹事 荒瀧義機 会員総数:34名(年度始時名簿記載)

【R.I会長テーマ】こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

〔会長方針〕愛と笑いで創ろう友の和・広げよう奉仕の輪計理想は高く

—愛は深く・友情は永遠に—

●クラブ運営管理関連委員会の活動

年度開始に臨んで、クラブ運営管理連絡会議を2回開催し、各委員会の方針について、相互の連携を図り活動することを確認した

- 1) プログラム委員会 多摩市長、多摩中央消防署長、多摩動物園園長、島田療育センター八王子所長をはじめ、多摩地域で活躍されておられる方・グループを招聘 筍ほり例会では“茶道”の手ほどきを受けたり、座禅例会など、当クラブ独自のプログラムが実施できた 富士見RCとの親睦移動合同例会、深大寺花見例会などはSAA/親睦委員会との連携を密にして楽しい移動例会を実施した
- 2) SAA・親睦委員会 2011年12月21日 Xmas例会(テーブルマジック) ・1000回記念例会「連続皆出席表彰」(2012年2月1日)、4月4日花見移動例会(深大寺・神代植物公園)、5月9日筍堀り移動例会(吉祥院 津守会員婦人お点前「お茶会」) 6月13日座禅移動例会(高西寺住職関岡会員指導)
- 3) 出席奨励委員会 今年度平均出席率:79.17%(2011年7月～2012年4月)年間100%出席会員表彰
- 4) 会員増強委員会 増強3名 退会3名 純増0名
- 5) 会報・記録委員会 毎回の例会を正確に纏めて発行することが出来た
- 6) 広報委員会 第9回障がい者テニススクール、多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」(白楽荘慰問コンサート)を、ガバナー月信2012年3月号で広報することが出来た
- 7) ロータリー研修委員会 ニコニコの目的・意義を再認識することが出来た(委員長卓話) 米山奨学生「何 超」さんの卓話で、米山奨学制度の役割の大きさを実感した
- 8) 募金活動委員会 *R財団 ポールハリス・フェロー 準フェロー4名、*ベネファクター2名 *米山奨学会米山功労者3名 *年次寄付会員「一人100\$以上のクラブ」達成
- 9) ロタキッド委員会 ロタキッド合唱団が、京王プラザホテル多摩「Xmasロビーコンサート」出演
- 10) 「IT特命委員会」お知らせ欄に第9回「障がい者テニススクール」の動画をアップロードした

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1. 「障がい者テニススクール」の継続(2011年11月24日 於、多摩市一本杉公園テニスコート) 参加者は、当クラブ会員・中学生を含め160名余、今回は、阿部多摩市長も参加され大盛会となった
2. ロタキッドクラブを継続支援する 多摩市教育委員会の講演を得た、「白楽荘慰問コンサート」は定着してきている
3. 「富士見ロータリークラブ」との友好関係 9月16日に会員有志(5名)が表敬訪問 10月20・21日の親睦旅行「移動例会」で、富士見RCとの「合同例会」とした

4. 「多摩さくらプロジェクト」に参加する

多摩市商工会議所が立ち上げたプロジェクト、三月に種子まき、四月には「桜ウォーキング」に参加

5. カンボジア・アンコール小児病院支援

来院幼児向け「室内遊具」を贈呈した 専門メーカーと協議し、合計20種類、各品にロータリーマークを貼付し、現地に送付した 笑顔いっぱい遊ぶ子供たちの写真とともに礼状をいただいた

6. 乞田川「蛍再生プロジェクト」

中沢池、中沢川、乞田川で、年に4回「水辺環境調査」を実施し、中沢川では、水生生物、水質の確保されていることが確認できた

7. ニュージーランド「カウリ」（世界最大の巨木）を「東京多摩グリーンRCのシンボルとして中央公園に植樹しよう」プロジェクトに着手しようとしたが。実現には問題の多いプロジェクトと判明した

・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2012年～2013年 会長 澄川 昇 幹事 荒瀧義機 会員総数:34名(年度始時名簿記載)

【R.I会長テーマ】奉仕を通じて 平和を

〔会長方針〕「全員積極参加でロータリーを楽しもう」

*「国際ロータリー会長」は、30年ぶり3人目の日本人である「第2770地区 八潮ロータリークラブ」の田中作次氏です 田中氏は、今年度のRI会長テーマを「奉仕を通じて 平和を」と発表され、世界平和フォーラムを世界中の3か所で開催されました 当クラブの今年度は、受け継いだ数々のプロジェクトに全会員が一丸となって協力し、「会員の一人ひとりがロータリーを楽しむこと」にあります

○「クラブ細則改正」

『既設の「ロタキッド委員会」改め「ロタフェロー委員会」を創設する』を次年度初頭から実施する上で、今年度中の「クラブ細則改正」が必要であり、「理事会承認決議」及び「会員総会」賛成決議を行いました

●クラブ運営管理関連委員会の活動

1) プログラム委員会：

- ・2012年7月18日(1021回例会)「会員増強・維持・拡大」(地区会員増強・拡大委員長)
- ・7月25日「ジャズとバーボン」(Café Way マスター) ・8月30日「ガバナー公式訪問」
- ・9月5日 卓話「未来の夢計画」地区ロータリー財団委員長
- ・11月7日 日経新聞多摩支局長卓話「経済探訪」 ・2013年1月23日 「多摩よもやま話」
- ・3月13日 南鶴牧小学校副校長 福田氏の卓話
- ・5月22日 卓話「自分の年齢は自分で決める」湘南健康管理センター小吹優氏)

*活動報告書(別紙)から抜粋

2) SAA・親睦委員会：・12月19日 Xmas例会、・1月9日 寿例会、

- ・4月3日 花見例会(京王ガーデンアンジェ) 4月26日 筍堀例会(吉祥院)
- ・5月12日 富士見RC創立40周年記念式典・祝賀会(参加者、17～18名)

- ・ 6月2～3日 親睦旅行 伊豆下田方面
- 3) 出席奨励委員会：月平均出席率目標80%を、10か月間経過の内8か月で達成しています
 - ・ 全通常例会（38回）の平均出席率は84.21%を示した
- 4) 会員増強委員会：2名増強3名退会、結果1名減
- 5) 会報・記録委員会：委員各位にはご苦勞を掛けましたが、大過なく会報を発行することが出来た
- 6) 広報委員会：障がい者テニススクールの参加者募集記事を、多摩ニュータウンタイムズ・多摩市広報紙等に掲載、開催状況が、テニス雑誌「スマッシュ」の記事となった 関連して「ロータリーの友」にも記事を投稿した ロタキッドクラブの活動（「白楽荘」慰問コンサート）の広報実施
- 7) ロータリー研修委員会
 1. 「未来の夢計画」についての卓話（地区財団委員長）を聴いた
 2. 「職業奉仕」についての卓話を聴き、ロータリーの歴史と理念を認識
- 8) 募金活動委員会：・R財団年次寄付18名 米山奨学会特別寄付15名
- 9) ロタキッド委員会：・定期演奏会の教育委員会後援は承認された 活動資金については会員個人から多くの協力が得られた

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1. 「多摩市の奉仕行事への参加」プロジェクト： 多摩市主催の、・地域を明るくするパレード
 - ・「街美化推進」での清掃デーに参加
 - ・多摩市社会福祉協議会主催のチャリティーゴルフに参加
 - ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加
2. 「東日本大震災を忘れない」プロジェクト：
 - ・現地状況の把握不足により、有効な活動の見通しが立たず、実施見送りとした
3. 「蛍再生」プロジェクト：昨年度の調査で「蛍」の生育条件を確保していることを確認したうえで今年度も同様に調査を実施した 中沢川の結果は、昨年と比較して変化なく、水生生物は多種多様に生息しているため蛍の自然回帰が可能だと思われる
4. 「障がい者テニススクール」プロジェクト：

第10回目を迎えた「障がい者テニススクール」は、落合中学校1年生約100名、先生5名、障がい者約30名の参加に、コーチ4名が加わり、大きな盛り上がりを見せ、テニス雑誌スマッシュにもその様子が取り上げられた
5. 「ロタキッド合唱団支援」プロジェクト：
 - ・2013年3月30日（土）特別養護老人ホーム「白楽荘」慰問コンサート
6. 「カンボジア・アンコール小児病院支援」プロジェクト：前年度は、幼児向け遊具20点を寄贈したが、本年度は、「アンコール小児病院」の運営に関わっている「認定NPO法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN」（赤尾和美代表）にロータリーの会員が個人会員として登録して「アンコール小児病院」を支援した
7. 「富士見ロータリーとの友好関係維持」プロジェクト：
 - ・8月、当クラブの移動例会として富士見RCを訪問した
 - ・9月、富士見RC40周年記念式典に多数の会員が参加し友好関係を深めることが出来た

2013年～2014年 会長 萩生田政由 幹事 三田みよ子 会員総数:34名(年度始時名簿記載)

【R.I会長テーマ】奉仕を实践し みんなに豊かな人生を

〔会長方針〕「人と地域に寄り添う奉仕で、魅力的なクラブを」

*RI会長テーマに沿って、第2750地区舟木ガバナーは「新しい風を感じることが出来る活動を行う」を年度方針に掲げられました 当クラブでもこの一年間、「新しい風」を吹き込むべく様々な活動を行って参りました ・現状を見据えて、クラブの規則や伝統を時代に合ったものへと改革する事 ・例会を、慣例と惰性に染まらず礼節あるものにして行くこと ・ホームページを利用して会報に記録やクラブの出来事を、一層早く正確に発信できるようにすること ・「人と地域に寄り添う奉仕」を目指した活動では数多くの地域イベントに参加し、多くの地域人との交流も深まりました

○既設の「ロタキッド委員会」改め「ロタフェロー委員会」を創設する

その為、「クラブ細則 第7条「委員会」、第2節「クラブ運営管理関連委員会」(a)「ロタキッド委員会」を改廃「ロタフェロー委員会」創設、第3節クラブ運営管理関連。各委員会の任務 (i) ロタフェロー委員会(常設委員会)に改正 (2013年~2014年度被選理事会承認決議(3月13日))

尚、当決議事項は、前年度理事会の承認決議を経て「会員総会」に諮られ賛成多数で可決承認、2013年7月1日より効力を発揮する運びとなりました

●クラブ運営管理関連委員会の活動

年度開始に備えて活発な討議を行い、各委員会が連携して方針を確認した

- 1) プログラム委員会：卓話回数24回、多摩市長、多摩中央警察署長、多摩中央消防署長、税制問題、福祉、東日本大震災後の復興現状について、等々
- 2) SAA・親睦委員会：7月28日～29日 ・「富士見高原ゴルフ会」(富士見RC・多摩グリーンRC) ・11月17～18日、親睦旅行(焼津方面) ・12月18日Xmas例会 ・1月8日多摩RC合同寿例会、 ・4月1日・多摩RC合同花見例会・4月29日筍堀(自由参加) 吉祥院・5月28日座禅例会 高西寺
- 3) 出席奨励委員会：クラブ平均出席率毎月80%以上を達成、7月～3月(9か月)平均は86.79%
- 4) 会員増強委員会：本年度の増強目標3名を達成
- 5) 会報・記録委員会：理事会、委員会、その他報告の正確性を期し、会員がクラブの現状・方向を把握できるように努めた
- 6) 広報委員会：ホームページ、たま広報、テニス専門誌「スカッシュ」などで「障害者テニススクール」を広報した ロタフェロー活躍の様子を、例会時や会報などで報告した 会員の投稿応募「川柳」が掲載されている「ロータリーの友」を配布時に報告した
- 7) ロータリー研修委員会：新会員セミナー開催(ロータリーのポリオ撲滅運動の活動意義)
- 8) 募金活動委員会：プログラム委員会と連携して例会時に呼びかけ R財団、米山奨学会はもとより、フィリピン地震支援募金などの災害支援募金にも積極的に協力した
- 9) ロタフェロー委員会(今年度から創設)：キム・キョンミンさん(彫刻家)、西村裕亮さん(車いすテニスプレーヤー)、赤尾和美さん(NPO法人フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダー副代表)、多摩グリーンロタキッド・クラブ「心の詩 少年少女合唱団」を「ロタフェロー」として「認証」

- 10) 「IT委員会」：ホームページ更新などの外注サービスを解約、プロバイダーとのデータサーバ契約も容量的に必須ではないので解約した ホームページとしては、会報のアップロードでクラブの活動状況は開示できるが、ロタフェローの「活動の様子」などの最新記事も逐次アップするべきであった

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

1. 「障がい者テニススクール」の実施

イ) このプロジェクトの開催趣旨は「社会奉仕」を基本とするが、「新世代奉仕」プロジェクトでもあるという側面も併せ持っている 故に、多摩市立落合中学校の生徒（100余名）のボランティア参加は必須です 参加した生徒たちは「体験文」を書き、後日、その思いを「作文集」として発表する・・・という教育的プログラムでもあることを再認識した

2. 国際奉仕プロジェクト「アジア・アフリカの子供たちに“教材”を贈ろう」

過年度から実施している「アンコール小児病院支援プロジェクト」を参考にして、今年度は、ミャンマー国内で「巡回訪問医療」を続けているチームに“教材”を寄贈した

3. 多摩市内の奉仕事業への積極的参加プロジェクト

イ) 地域社会におけるロータリーの公共的知名度を高めるプロジェクトとする

ロ) 多摩市の主催する行事のみならず、地域で行われる奉仕活動にも積極的に参加するという事で、

- ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加 ・マナーアップキャンペーン参加
- ・多摩市社会福祉協議会主催のチャリティーゴルフに参加

2014年～2015年 会長 小田泰機 幹事 田崎博実 会員総数:33名(年度始時名簿記載)

【R.I会長テーマ】ロータリーに輝きを

〔会長方針〕全員参加のロータリー活動を ― 好意と友情を深めるか ―

◆「クラブ創立25周年記念式典・事業」実行準備委員会編成

●クラブ運営管理関連委員会の活動

クラブ運営についてはSAA・親睦委員会が、定番のXmas例会やお花見親睦旅行などの企画に加えて、ワイン同好会の立ち上げに協力し、ロタフェロー委員会は更に積極的にロタフェロー支援企画を実施

- 1) プログラム委員会：多摩市の全体像を理解しようとする目論見で、多摩市長、市議会議長、多摩中央警察署長、多摩消防署長、多摩市教育委員長、社会福祉協議会会長、多摩稲城防犯協会会長の方々から卓話をいただいた
- 2) SAA・親睦委員会：各委員が個性を発揮し、気品ある、楽しく和やかな例会づくりが行われた親睦行事は「Xmas例会」、寿例会、お花見親睦旅行、筍堀、座禅会を実施した またクラブ内でワイン同好会、中国遊戯研究会の立ち上げに協力した
- 3) 出席奨励委員会：活動計画に掲げた出席率80%以上の目標に対し、全例会を通じた出席率の平均が84%を超えた

- 4) 会員増強委員会：今年度2名増強して、会員数は34名となった 「体験例会」への招聘をもつと行うべきであった
- 5) 会報・記録委員会：滞ることなく週一回、会報を発行した 紙面の都合上載せきれない写真などはあるが、「移動例会」なども含め、ロータリー活動の楽しさが生き活きと伝わる会報となった
随時、当クラブのホームページに会報を掲載した
- 6) 広報委員会：「障がい者テニススクール」の参加者募集要項をHPにアップして広報に努め、終了後の報告も早めにできるように努めた
- 7) ロータリー研修委員会：第1151回例会で、「ロータリーの歴史」等をテーマに会員による卓話を実施
- 8) 募金活動委員会：プログラム委員会と連携し、ポリオ撲滅についての卓話者を招聘してロータリー財団への関心を募り、米山記念奨学会と合わせて寄付協力を会員に要請した
- 9) ロタフェロー委員会：・彫刻家キム・キョンミンさんの個展見学を企画しその際の様子をクラブ会報に掲載した ・多摩市立落合中学校“夢を育む講演会”の講師として、車いすテニスプレーヤーの西村祐亮さんを推薦し、講演料等の補助をするなどして支援した ・NPO法人フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダーJAPAN副代表 赤尾和美さんを例会に招き、卓話をしていただいた
・多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」の定期演奏会（ロータリーDAY）、聖蹟ハートフルコンサート、神戸・福島・多摩合唱祭、白楽荘慰問コンサートを支援した
- 10) 「IT委員会」：ホームページを全面的にリニューアルし、メールなどでの投稿を出来るようにする 等、独自の発信を可能とした

●奉仕プロジェクト関連委員会の活動

「奉仕プロジェクト」は、障がい者テニススクールをはじめ、殆んどの会員が何らかの活動に参加した

1. カンボジア・ラオス支援プロジェクト：

2014年2月に開院した「ラオス小児病院」を支援するべくNPO法人フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダーJAPANを通じて、小児患者向け玩具の購入費用15万円を寄付した

2. 障がい者テニススクール：10月2日に「障がい者テニススクール」を実施した

3. 多摩市奉仕事業への参加プロジェクト：社会を明るくする運動、多摩市街美化キャンペーン、せいせき桜祭りを後援・協賛 ・「社会を明るくする運動」啓発パレードに参加

2015年～2016年 会長 宮本 誠 幹事 入沢修自 会員総数:32名(年度始時名簿記載)

【R.I会長テーマ】世界へのプレゼントになろう

〔会長方針〕基本を知って恐れず変革、フレッシュな25周年クラブを！「顔の見える」活動で

◆「クラブ創立25周年記念式典・事業」実施（2015年10月7日 於 京王プラザホテル多摩）

「記念事業のテーマ」：

コンセプトを地元「多摩」の誇れるもの、自慢できる種を発見し、これを後世に引継ぐ方法を

見出す機会として地元に関心を持ち、地元多摩を更に良くしていこうという意図を基本的概念として実施した クラブ会員の1年間に及ぶ体験の記録、多摩市を中心とした地域の歴史的、地理的、文化的位置づけ、洗練された都会的住環境・動植物生体等を報告、ジャンル別講師による講演、等々・・・多摩自慢の数々

「記念事業」1、「シンポジウム ―多摩自慢― 」

祐乗坊進（多摩の里山文化）、篠原恵一（多摩の歴史文化）、松原和男（多摩の町のかたち、仕組）
・多摩自慢探検隊の足跡（東京多摩グリーンRC）

「記念事業」2、 ・R財団寄付贈呈、 ・ポリオプラス寄付贈呈、 ・米山記念奨学会寄付贈呈

◇「ロタフェロー」支援

・ロタフェロー紹介・活動支援金授与・プレゼンテーション（個人、3名）

・活動支援金授与：個人、赤尾和美さん、キム・キョンミンさん、西村裕亮さん（計3名）
：団体、多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」

☆会員表彰 創立後1000回以上100%出席会員

「懇親会」：地酒「多摩自慢」「原峰のいずみ」で乾杯

●クラブ運営管理関連委員会の活動

クラブ運営管理関連委員会統括委員長・副委員長の任務は、関連諸委員会と協働して、その活動の活性化を図ることである・・・として活動した。

- 1) プログラム委員会：地域で活躍する人を発掘して卓話していただくという試みは実現した 度々実施された委員長自身による卓話（健康増進）も大変有益な内容であった
- 2) SAA・親睦委員会：全会員が積極的に参画して「活気があふれ気品と秩序ある例会」となった Xmas例会、新年寿例会、親睦旅行、座禅会等で会員間のつながりをさらに強め、例えば、日常では体験できないこと・場所に出かける「親睦旅行」、「ワイン同好会」等も立ち上げ、「魅力があり、わくわくする行事」を実施した
- 3) 出席奨励委員会：第1180回例会で、第588回例会以来の100%出席が実現した 全例会を通じた出席率の平均は、85.78%であった
- 4) 会員増強委員会：懸命に増強に取り組んだ結果、若い新会員3名の増強を得たが、残念なことに3名の退会者があり、純増は0人という結果となった
- 5) 会報・記録委員会：「WHO AM I?」（私は誰でしょう？）の企画で、会員の若かりし頃の秘蔵写真を会報に掲載、写真の主を推量投票して、次の例会時で発表するという試みを行った 掲載写真とご本人には今昔のギャップがあって微笑みを誘い、好評であった
- 6) 広報委員会：コミュニティー紙「タウンニュース」に取材記事が掲載され、概ね広報効果があった
- 7) ロータリー研修委員会：4月20日、新会員に「ロータリー活動の歴史」などについて研修を行い、その後、ワイン同好会に参加、カクテルの歴史や楽しみについての勉強会となった
- 8) 募金活動委員会：・災害時に募金活動を行った（サイパン島台風被害への支援募金

¥30000・熊本地震への支援募金¥71000)・「ロータリーカード」への加入を勧めたが効果はなかった

- 9) ロタフェロー委員会：ロタフェロー、赤尾和美さんを、卓話者として招聘した・ロタフェロー、キム・キョンミンさん（彫刻家）を例会に招聘した・ロタフェロー、西村裕亮さん（車いすテニスプレイヤー）が2位まで日本ランキングを上げたが、リオ・パラリンピック出場は残念な結果となった ロタフェロー、多摩グリーンロタキッドクラブ「心の詩 少年少女合唱団」12月定期演奏会の支援募金を行った 同合唱団は多摩市主催平和記念植樹祭の記念樹「アオギリの歌」で参加、1月には健幸甲子園＋地域ふれあいフォーラム多摩に出演、4月には、特別養護老人ホーム「白楽荘」で恒例の慰問コンサートを開催した

- * 最終例会において：赤尾和美さん、キム・キョンミンさん、多摩グリーン ロタキッド・クラブ「心の詩少年少女合唱団」に活動奨励金を贈呈した
ロタフェローの皆さんの、各々の異なる分野でのこのような大活躍は、東京多摩グリーンロータリークラブのイメージを著しく高める効果を得ているものと考えます

●「奉仕プロジェクト関連委員会」の活動

1. 障がい者テニススクール」を開催したミヤムラテニスセンターの指導、多摩市立落合中学校の協力、阿部裕行多摩市長の臨席を得て、2015年10月15日に開催した
2. ラオス小児病院支援：当クラブ認証ロタフェローであり、フレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダーJAPAN 代表である赤尾和美氏を通じ「ラオ・フレンズ小児病院」設立・運営に関する支援を行った 具体的には、注射器等の医療器具（合計237880円分）を、関岡俊二実施委員長が「ラオ・フレンズ小児病院」に持参して寄贈するという方法で実行した
3. 一般向けの、ポリオ撲滅キャンペーンイベントを開催する：一般市民向けキャンペーンの実施にまでは至らなかったが、田村実施委員長の尽力により、多摩医師会の会員に対して「ロータリークラブのポリオ撲滅キャンペーン」を周知させることが出来た

2016年～2017年 会長 小泉 博 幹事 杉山真一 会員総数：32名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】人類に奉仕するロータリー

〔会長方針〕魅力あるロータリーに（骨太な理想を基本に）

別掲

2017年～2018年 会長 田崎博実 幹事 峯岸 忠 会員総数：28名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】ロータリー：変化をもたらす

〔会長方針〕「頑張れ！多摩！」

別掲

2018年～2019年 会長 三田みよ子 幹事 菊池 敏 会員総数：26名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】インスピレーションになろう

〔会長方針〕「増強から広げる」地域に寄り添う活動を

別掲

2019年～2020年 会長 入沢 修自 幹事 田崎 博実 会員総数：29名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】ロータリーは世界をつなぐ

〔会長方針〕地域とつながるロータリークラブ

別掲

2020年～2021年 会長 峯岸 忠 幹事 守田 亨 会員総数：29名（年度始時名簿記載）

【R.I会長テーマ】ロータリーは機会の扉を開く

〔会長方針〕「広げよう奉仕の輪」

別掲

あとがき

1990年9月5日創立以来、30年間に亘り築かれて来た「東京多摩グリーンロータリー・クラブ」。
昨今ではその足跡を殆んど語られなくなり、事務局保管の資料も散逸してしまっております。

2020年9月5日に「クラブ創立30周年」を迎える東京多摩グリーンロータリークラブでは、前年度早々の2019年8月に「実行委員会」を編成して企画案を纏めた後、大使館を訪問して「ラオス人民共和国駐日大使」と面会、翌2020年2月には視察団（11名）の「ラオ・フレンズ小児病院」訪問予約など、具体的行動を開始し、本番に向けた準備を進めておりました。

しかし乍らその矢先に、世界中を震撼させる「新型コロナウイルス感染パンデミック」と相成り、今日に至ってもなお、「周年行事」に留まらず“例会”をすらまともに開催できない状況下にあります。

そんな混乱の最中にある「東京多摩グリーンロータリー・クラブ」では、この際「過去30年間の実録を記す冊子」だけは「発行しておきたい」という思いで「クラブ創立30周年記念誌」を編纂致して参りました。

この度、「クラブ創立30周年記念誌」に“過年度活動の概略”を掲載するにあたり、会員（会員OB有志も含む）各位から寄せられた「クラブ概況及び活動計画書・イベントプログラム・パンフレット等々」の「過去記録」を基に「編集」を進めました。誤字、脱字、記載内容の不首尾や誤謬につきましても寛容にお取計らい頂ければ幸いです。ご協力をいただきました皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2021年6月吉日

東京多摩グリーンロータリークラブ

「クラブ創立30周年記念式典・事業」実行委員会

実施委員長 足立 潤三郎

記念誌発行担当 伊澤 ケイ子

東京多摩グリーンロータリー・クラブ 創立30周年記念誌

発行元：東京多摩グリーンロータリー・クラブ

〒206-0033

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号

TEL：042-372-6463

FAX：042-372-6491

E-mail：tokyotamagrc@gmail.com

Home P：http://www.tama-green.jp/

印刷所：株式会社 印刷工房しいはら

東京支社：042-339-8863

本社：086-234-3100

発行年月：2021年6月30日

著作権表示：本書の全部、または一部を無断で複写することは
法律で禁じられています。